



トルパチ!

設置マニュアル

- Ver.3.05 -

◆ 設置作業の全体の流れ

◎ 設置台・遊技機本体各部名称	-----	3-8
◎ 付属品詳細	-----	9
1. 開梱作業	-----	10
2. 設置台の組み立て	-----	11
3. データ表示機の取り付け	-----	12
4. トレパチ！本体の取り付け	-----	13-17
5. カードディスペンサーの取り付け	-----	18-19
6. 配線の接続	-----	20-26
7. 消音パネルの取り付け	-----	27
8. 設置台の固定	-----	28
9. 設置台の連結固定	-----	29
10. 未使用部品の保管など	-----	30
11. 設定方法①（Aタイプ）	-----	31-32
12. 設定方法②（Bタイプ）	-----	33-34
13. 設定方法③（Cタイプ）	-----	35-37
14. 使用部品の準備	-----	38-39
15. 動作確認	-----	40-42
16. トラブル対応について	-----	43-48
I. オプションについて	-----	49
II. 無線仕様のペアリング（接続設定）について	-----	50-52
III. ハンドル発射有無の設定	-----	53
IV. エアロビック・トレパチ！について	-----	54-55

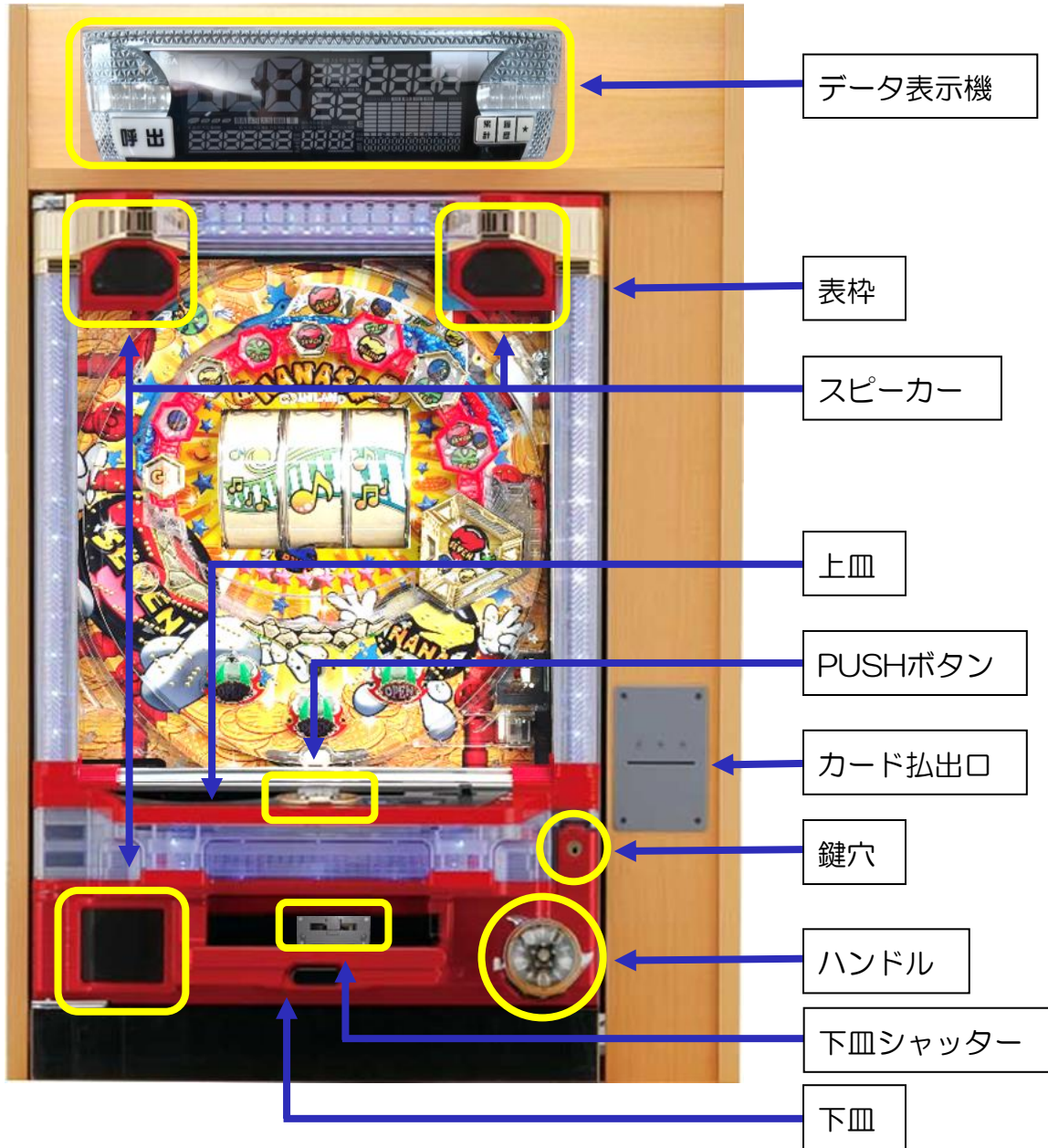
◆ 組み立てに必要な工具

- ラチェットレンチ（17mm）
- カッターナイフ（開梱用）
- プラスドライバー（＃2）
- 丸型水平器
- スパナ（13mm）
- 無線オプション取付を行う場合は、コンビネーションプライヤー



◎ 設置台・遊技機本体各部名称

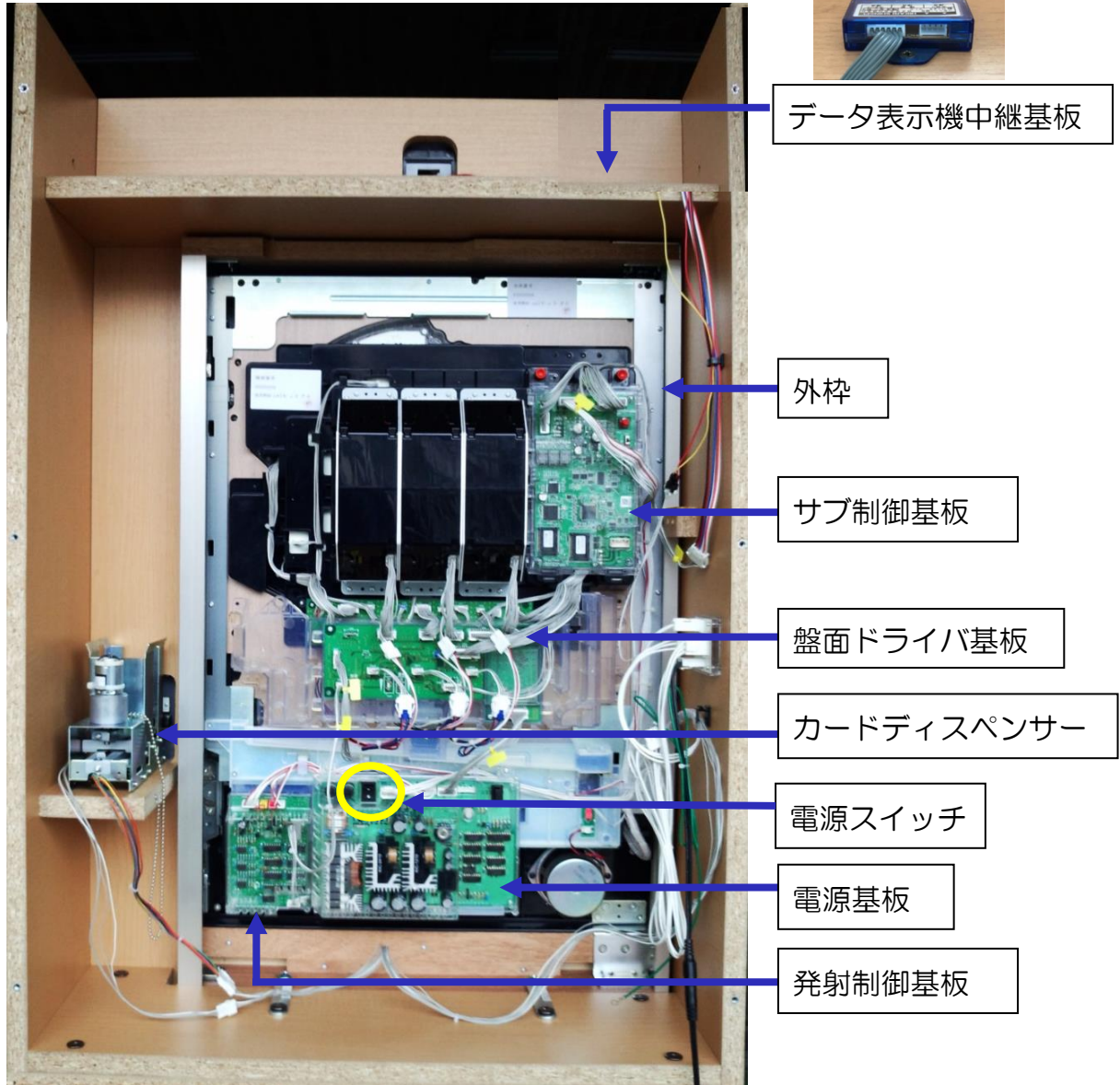
■ 正面図



※1 仕様が変更される場合があります

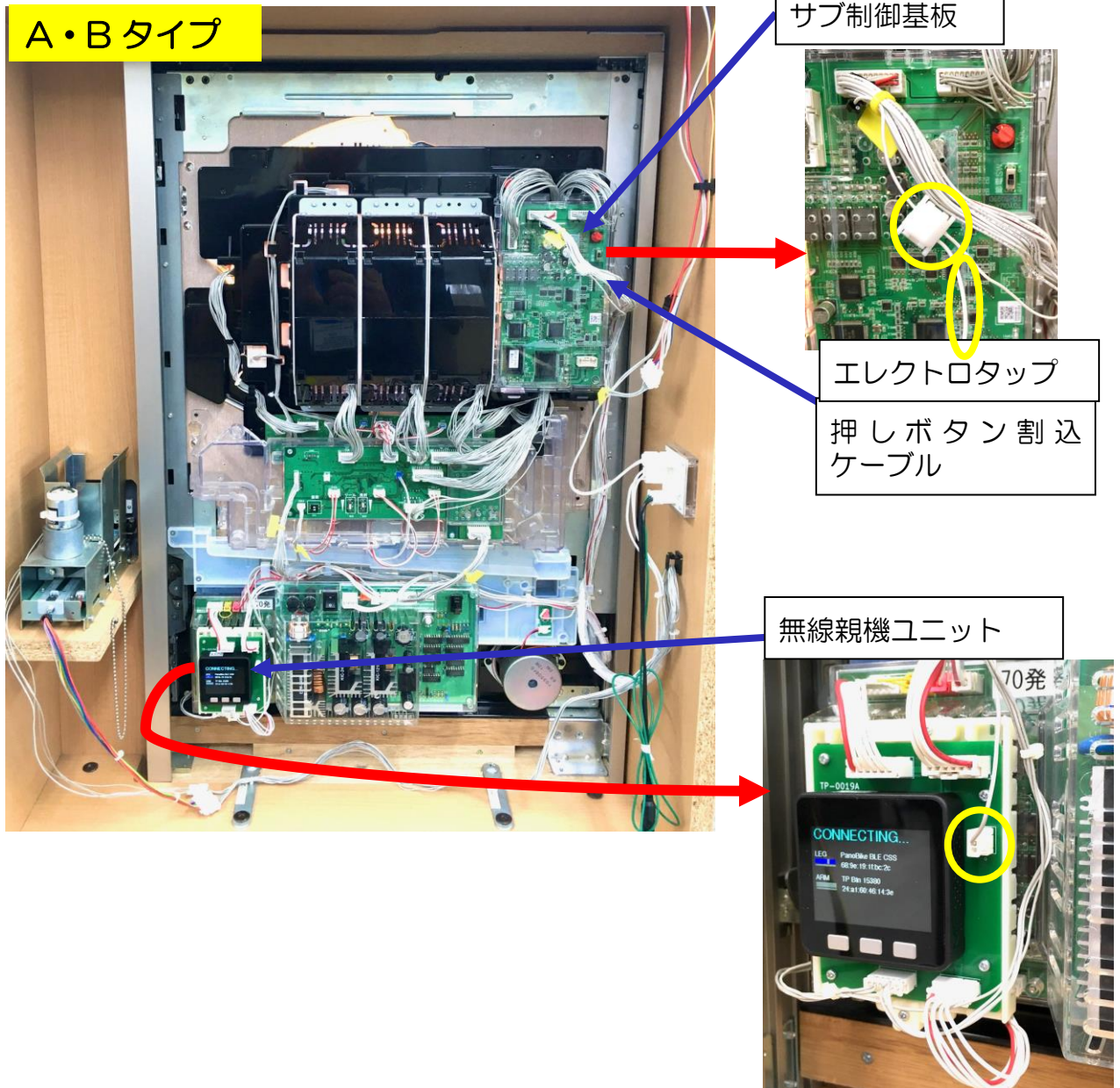
※2 機種によりデザインが異なります

■ 裏面図（通常仕様）



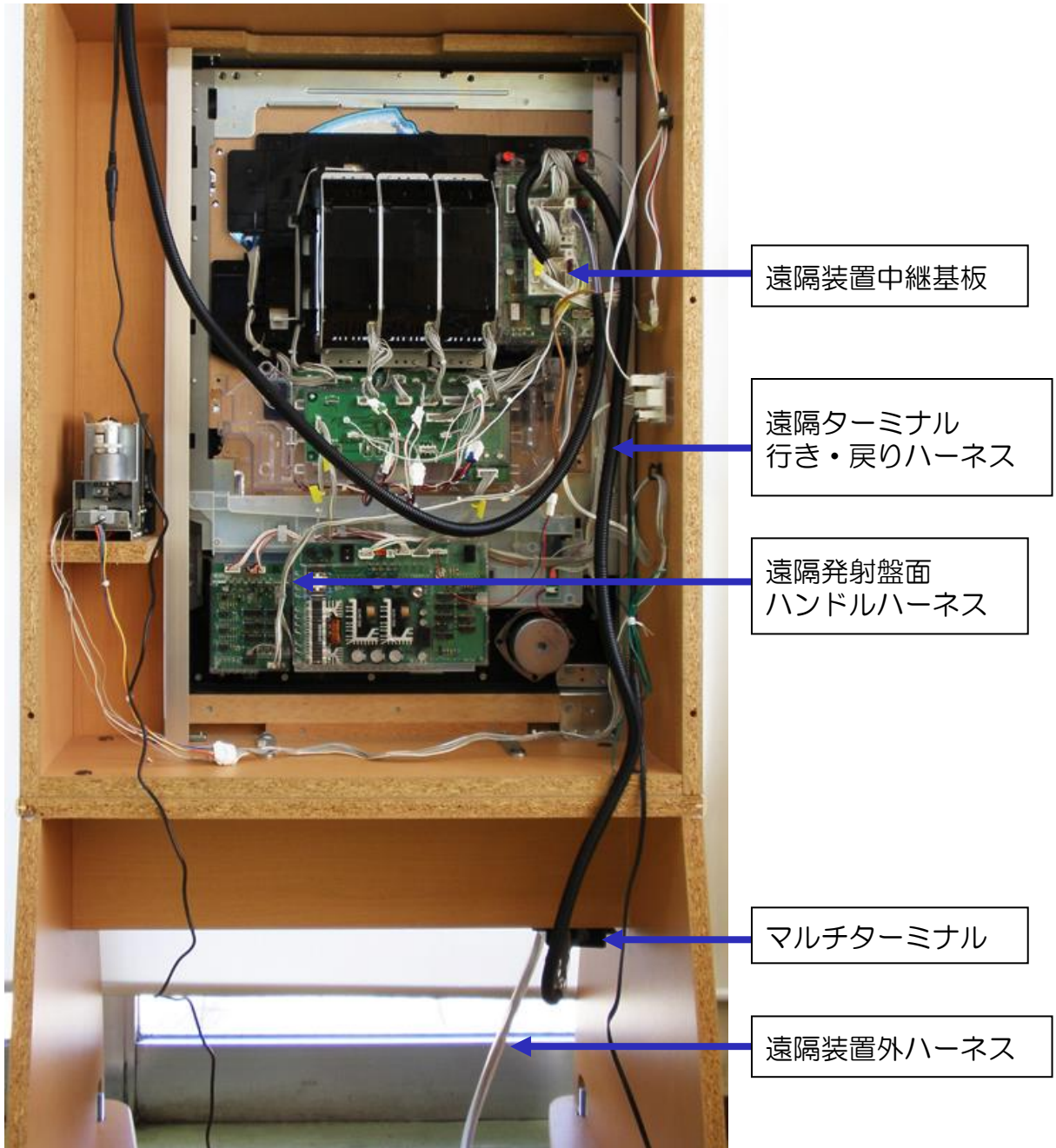
※1 仕様が変更される場合があります

■ 裏面図（無線仕様）



※1 仕様が変更される場合があります

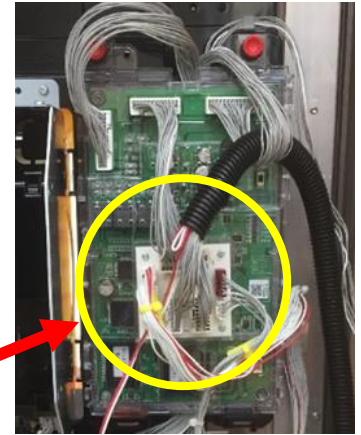
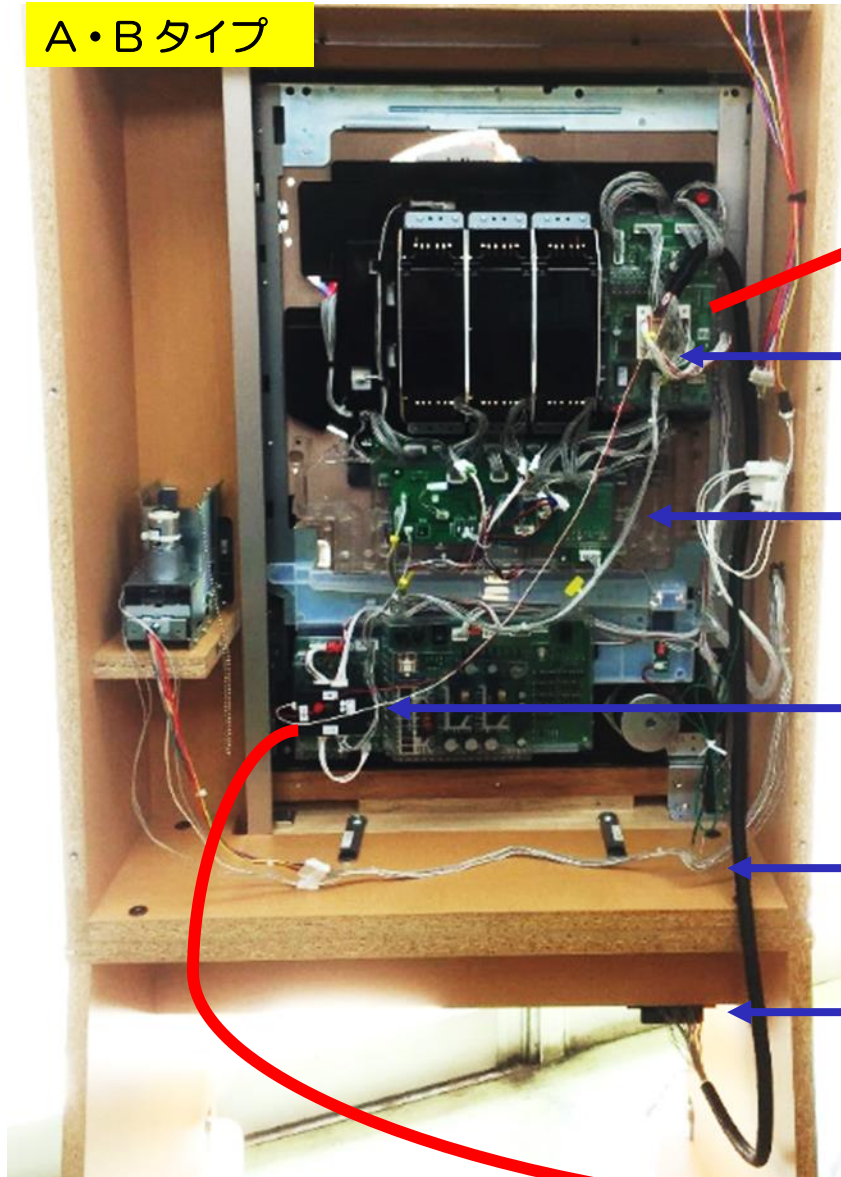
■ 裏面図（助ダチくん仕様）



※1 仕様変更される場合があります

■ 裏面図（エアロビック・トレパチ！）

A・Bタイプ



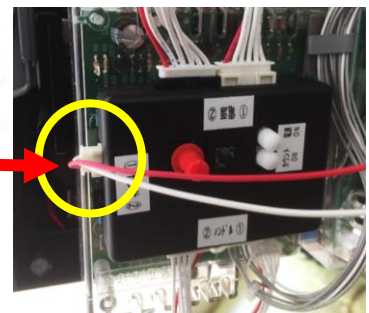
遠隔装置中継基板

遠隔発射盤面
ハンドルハーネス

エアロビック・トレパチ！
中継基板ユニット

遠隔ターミナル
行き・戻りハーネス

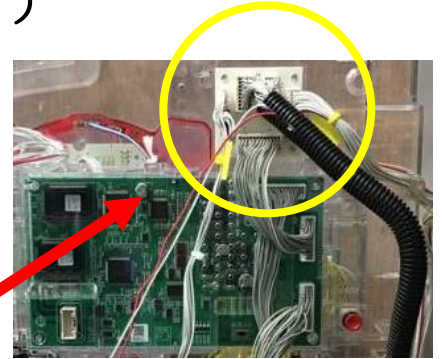
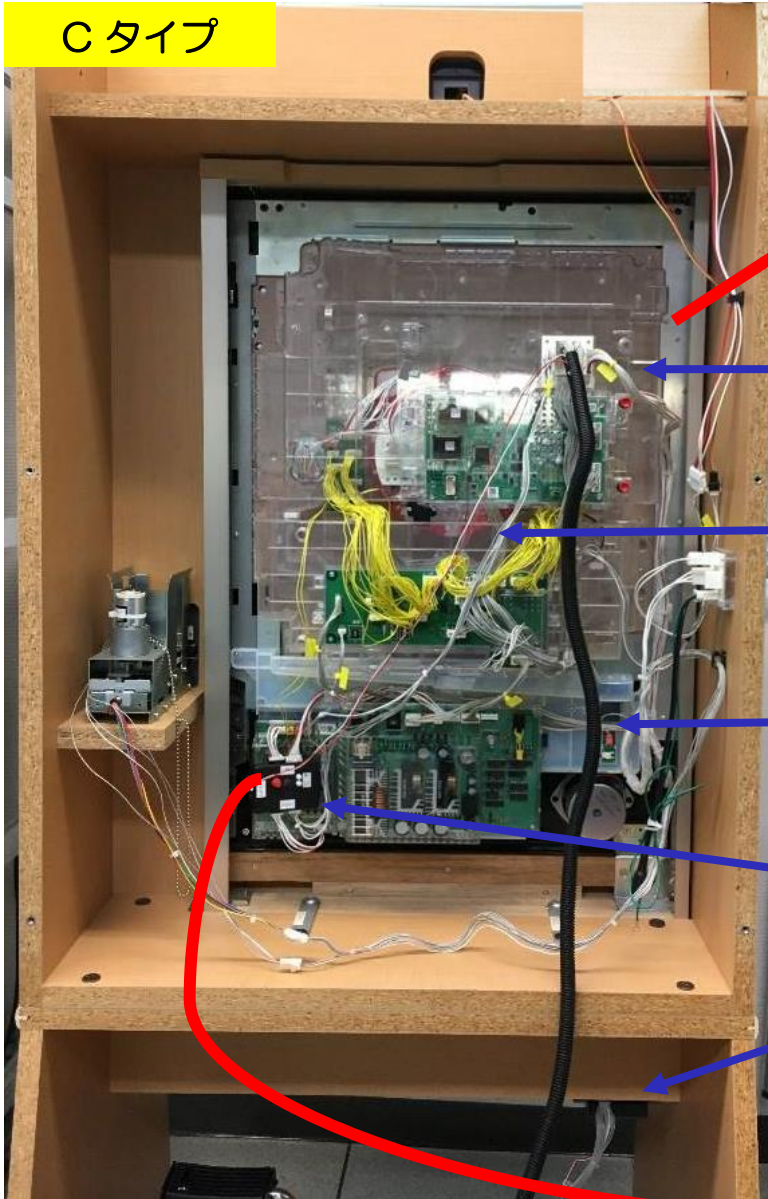
マルチターミナル



※1 仕様が変更される場合があります

■ 裏面図（エアロビック・トレパチ！）

Cタイプ



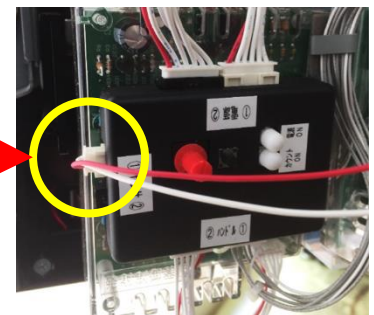
遠隔装置中継基板

遠隔発射盤面
ハンドルハーネス

遠隔ターミナル
行き・戻りハーネス

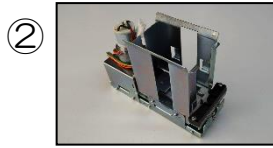
エアロビック・トレパチ！
中継基板ユニット

マルチターミナル



※1 仕様が変更される場合があります

◎ 付属品詳細



名称	数量
① データ表示機	1
② カードディスプレイ	1
③ 蝶ネジボルト	1
④ 電源トランス	1
⑤ 電源タップ ※1	1
⑥ ビスA(設置台固定用)	6
⑦ ビスB(外枠(木枠)固定用)	2
⑧ 固定用プレート	2
⑨ ユリヤねじ	6
⑩ 専用球	50
⑪ トレパチ! カード	50
⑫ 台鍵 ※1、4	1
⑬ 取扱説明書 ※2	1
⑭ 連結ボルト ※3	1
⑮ 連結用スペーサー ※3	1
⑯ のぼり	2

※1 基本台数分(使用しない付属品は回収)

※2 台数に関係なく1冊

※3 基本台数からマイナス1個(使用しない付属品は回収)

※4 納品時はトレパチ! 本体に挿してあります

電源トランスを入れていた付属品箱については引き続き使用するため、破ったりしないよう丁寧に取り扱い下さい

1. 開梱作業

① 梱包箱（3箱）を開梱し機材が揃っているか破損等がないかを確認します。



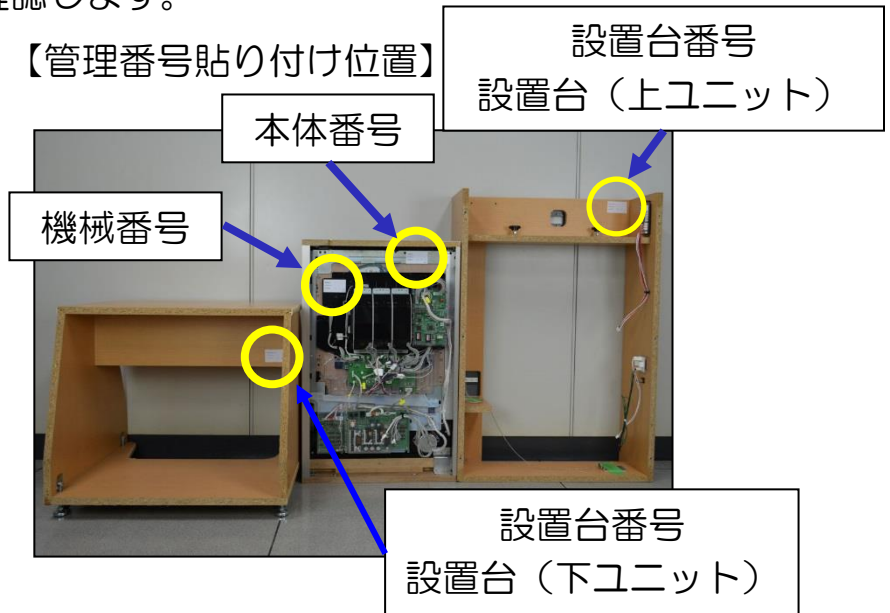
開梱時はキズ等をつけないよう、慎重に取り扱って下さい

② 「出荷連絡票」を参考に、各機材に貼付されている**管理番号**（4箇所）に間違いがないか確認します。

出荷連絡票

出荷連絡票	
契約番号	000000000001
機材納入先	デザイナーズ倶楽部
住所	〒400 0000 愛知県名古屋市中区千代田3丁目12番地
機材品目	2017年1月20日
機材納入日	2017年1月20日 午前
出荷機材の内訳	トレパチ!本体 (2)、設置台一式 (2)、 電源トランス (2)、電源タップ (2)、 機材箱 (2箱) (2)、サウンドボード (2箱) (2)、古銭 (1)、 中古CD (1)、紙製保護シート (機材箱の内装、機材箱の中) ※ サウンドボード、サウンドスプレッシャー、紙製保護シート 機材名 : トレパチ!サウンドボード一式一式 機材番号 : 0000001 本体番号 : 0000001 設置台番号 : 0000001 送り状番号 : 機材名 : トレパチ!トレパチ!サウンドボード一式一式 機材番号 : 0000002 本体番号 : 0000002 設置台番号 : 0000002 送り状番号 : 機材名 : 機材番号 : 本体番号 : 設置台番号 : 送り状番号 : その他備考

【管理番号貼り付け位置】



設置作業時には「出荷連絡票」を必ず持参して下さい

2. 設置台の組み立て

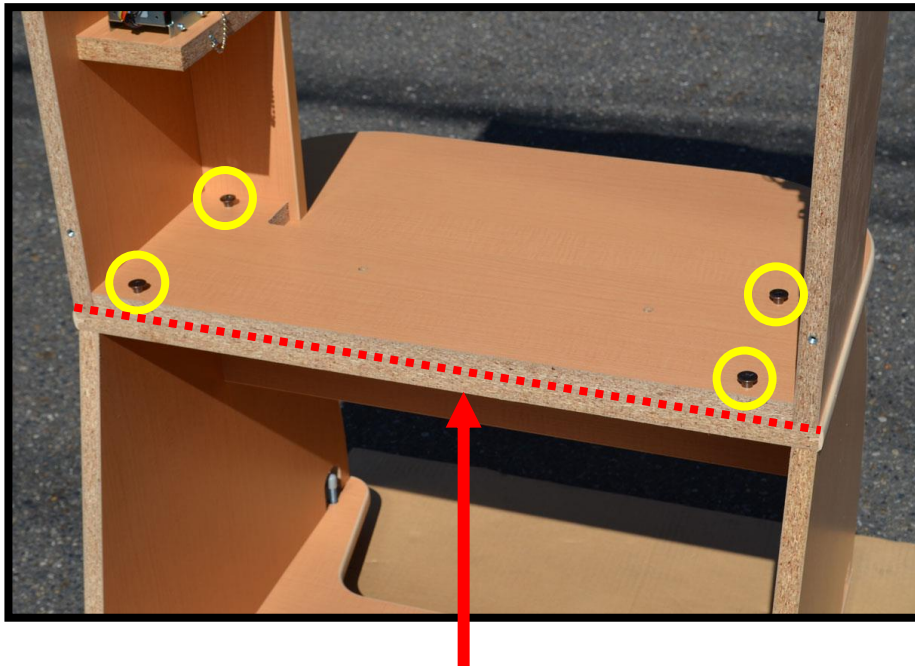
使用工具：プラスドライバー（#2）

事前確認：消音パネルは取り外した状態で作業をして下さい

- ① 設置台（下ユニット）に設置台（上ユニット）を仮置きします。

設置台（下ユニット）の天板にキズをつけないよう取り扱いします。
設置台（上ユニット）を引きずらず、静かに置きます。

- ② 設置台ユニットの4箇所をビスAで仮止めして、位置を微調整した後、
しっかり締め付け固定します。

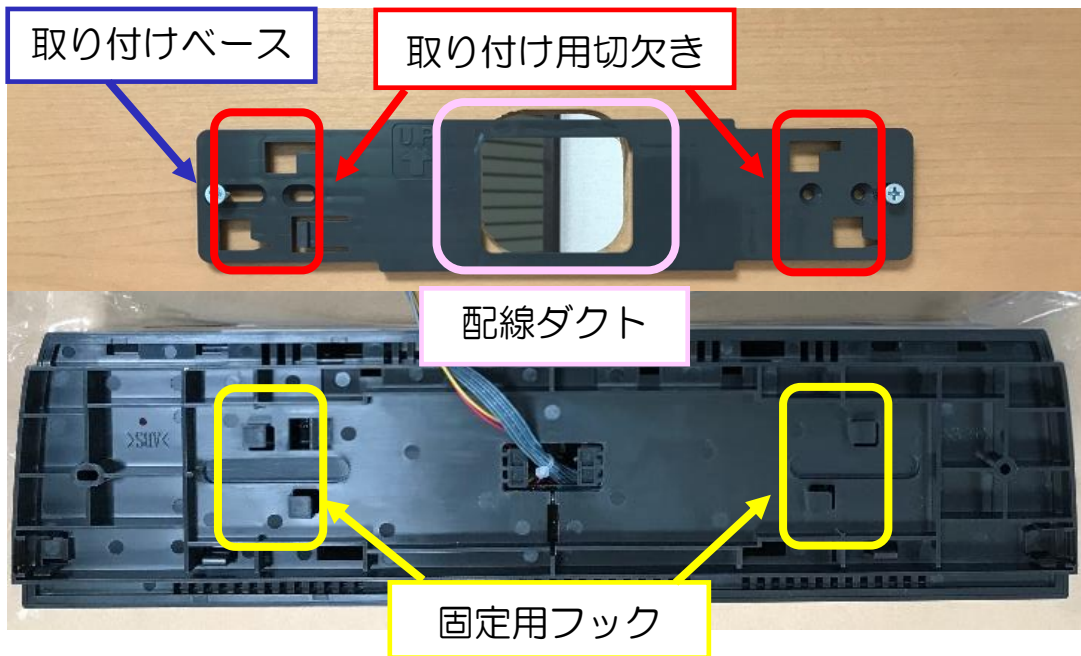


ビスA×4

設置台（上下ユニット）背面の段差をフラットな状態にして下さい

3. データ表示機の取り付け

- ① データ表示機の配線を設置台（上ユニット）の取り付けベースの「配線ダクト」から背面に通します。



- ② 取付ベースの「取付用切欠き」にデータ表示機の「固定用フック」をはめ込み、右側へスライドさせて固定します。（データ表示機に保護フィルムが貼ってある場合は剥がします）



配線類を挟み込まないように注意して下さい

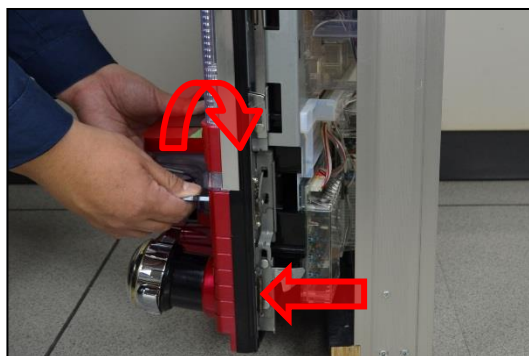
4. トレパチ！本体の取り付け

使用工具：プラスドライバー（#2）
スパナ（13 mm）

- ① 「外枠」（木枠）から「遊技機枠」を取り外します。

【「遊技機枠」の開放方法】

「遊技機枠」を開放する場合は台鍵を時計回りに回転させます。



台鍵

【「表枠」の開放方法】

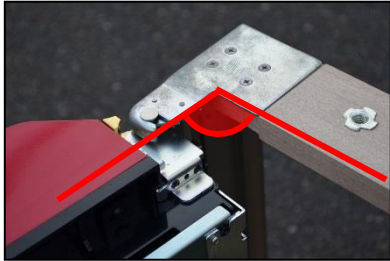
「表枠」を開放する場合は台鍵を反時計回りに回転させます。



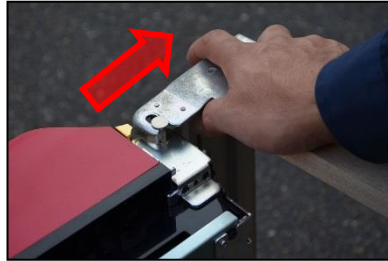
「遊技機枠」、「表枠」の開放時は必ず手で支えて下さい

② 「外枠」 (木枠) から「遊技機枠」を取り外します。

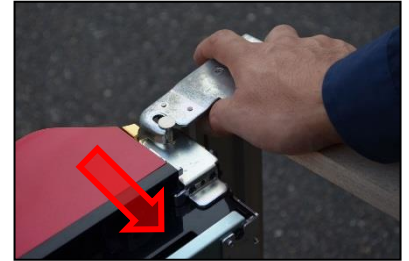
【「遊技機枠」の取り外し方】



1. 「遊技機枠」を
約90° 開く



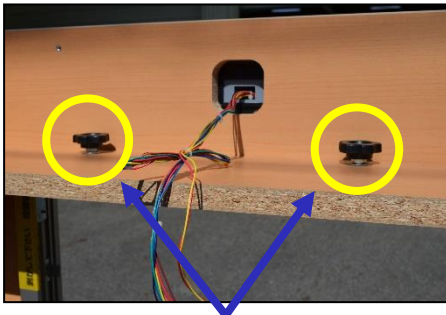
2. 「上ヒンジバー」
を矢印方向へ押す



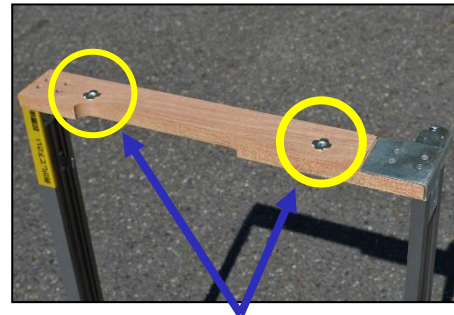
3. 矢印方向にスライド
させて取り外す

取り外した「遊技機枠」は倒さないよう取り扱いして下さい

③ 設置台に「外枠」 (木枠) を乗せて「ノブ付ボルト」を「ノブ付ボルト受け穴」に合わせ仮止めします。



ノブ付ボルト



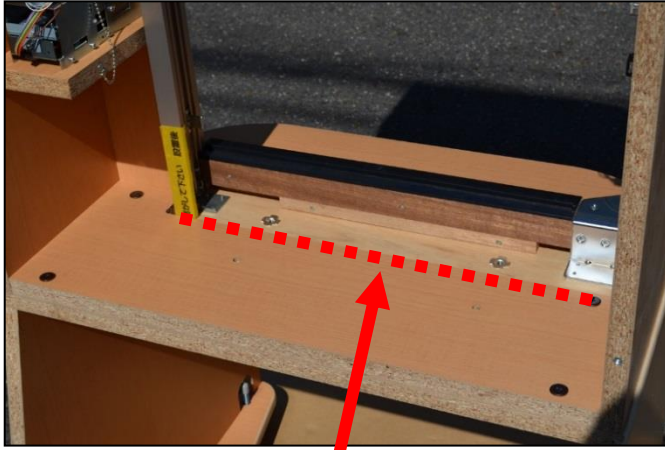
ノブ付ボルト受け穴

設置台 (下ユニット) の天板にキズをつけないよう取り扱いします。

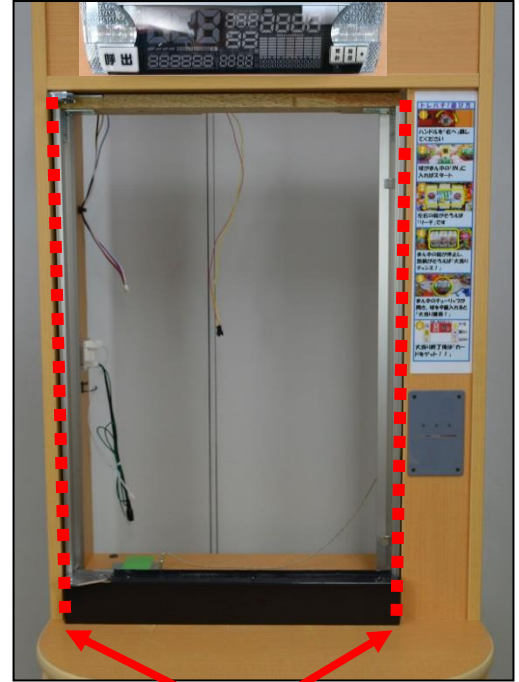
【注意】

②の作業を飛ばして③の作業をしないようにして下さい。
遊技機枠が入った状態でセットすると、重量でキズが入ります。

④ 設置台と「外枠」(木枠)の位置を整えます。



接合ラインの隙間をなくして下さい

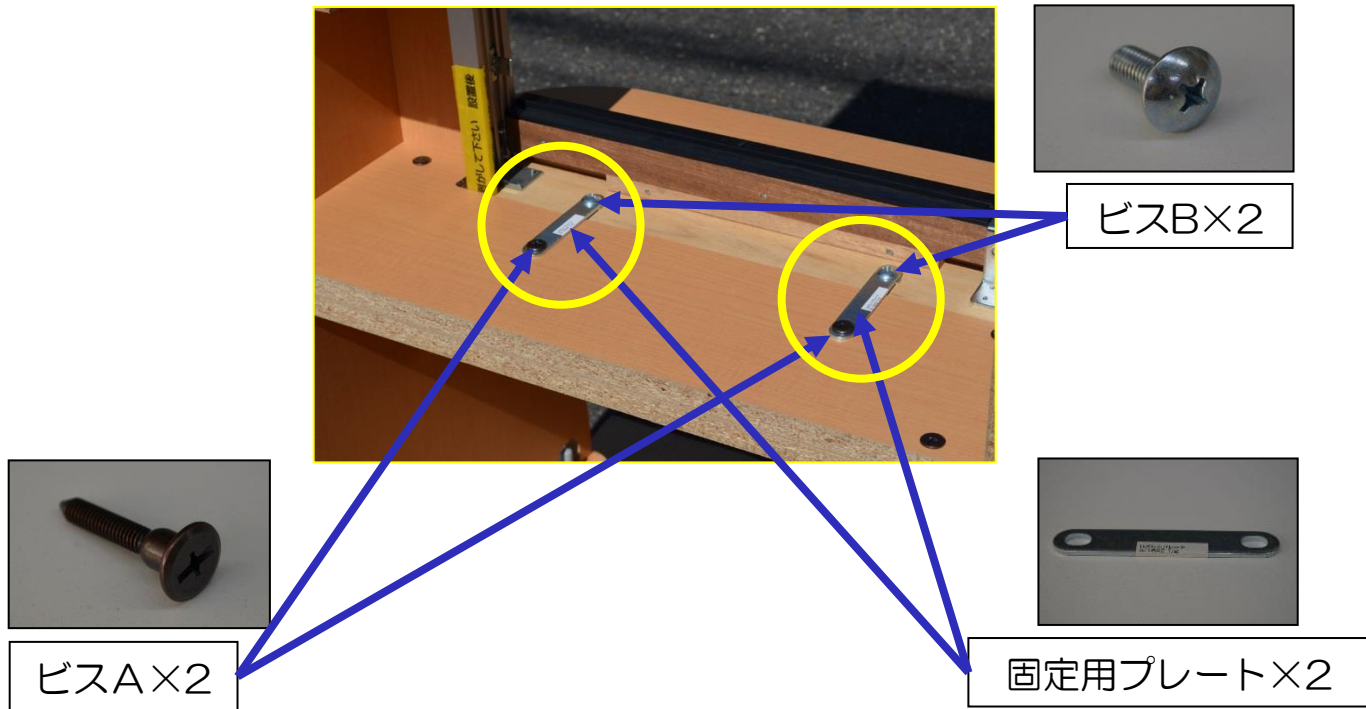


設置台と木枠の隙間を左右同間隔にして下さい

設置台(上下ユニット)の接合ラインと「外枠」(木枠)の間に隙間が生じないように取り付けます。また、設置台と「外枠」(木枠)の左右とも同間隔の隙間を保つように設置固定します。

どちらの間隔・隙間を合わせずに固定すると、球飛びおよび「遊技機枠」・「表枠」開閉等不具合の原因となります

- ⑤ 固定用プレートとビス（2種類）で外枠（木枠）と設置台を固定します。



- ⑥ 設置台上部の「ノブ付ボルト」(2本)を締め込み、スパナでナットを固定します。

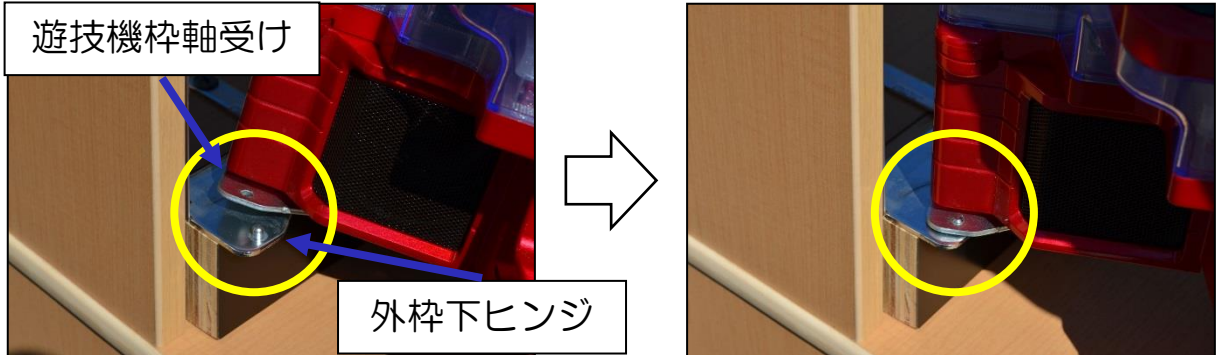


「ノブ付ボルト」を締め込む際、スパナが入る隙間を確保して下さい

⑦ 「遊技機枠」を「外枠」（木枠）に取り付けます。

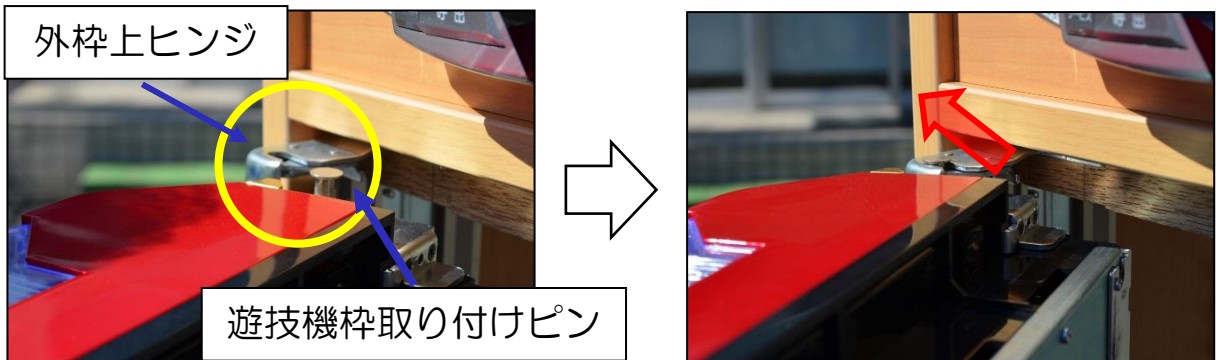
【「遊技機枠」の取り付け】

1. 「外枠下ヒンジ」に「遊技機枠軸受け」をはめ込む



外枠下ヒンジへ、遊技機枠軸受けを確実にはめ込みます。誤って遊技機枠軸受けを、天板に落下させてキズをつけないようにします。

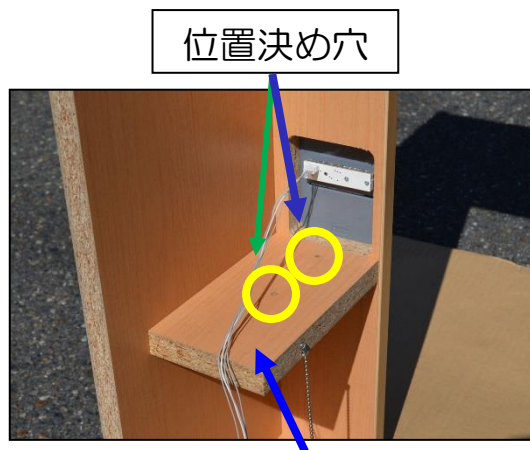
2. 「外枠上ヒンジ」に「遊技機枠取り付けピン」をはめ込む



作業後にトレパチ！本体が確実に固定されているか、また「遊技機枠」、「表枠」の開閉に問題はないか、必ず確認をして下さい

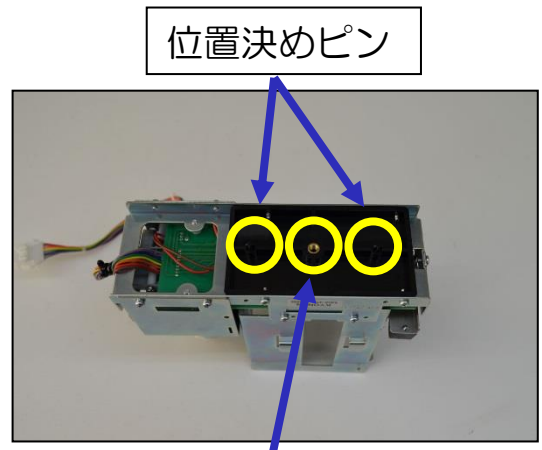
5. カードディスペンサーの取り付け

- ① テープ止めされた「カード払出口LEDハーネス」を外し、設置台（上ユニット）の側面へ寄せます。
- ② カードディスペンサーの「位置決めピン」を「カードディスペンサー取り付け台」の「位置決め穴」に合わせます。



位置決め穴

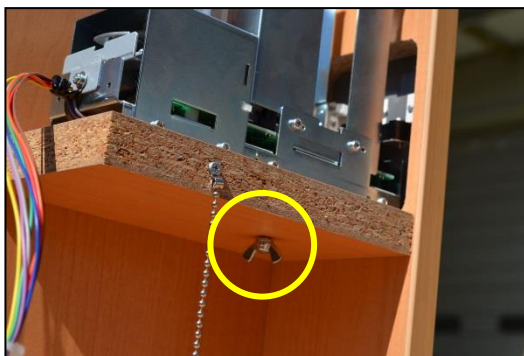
カードディスペンサー取り付け台



位置決めピン

蝶ネジボルト取り付け穴

- ③ 「カードディスペンサー取り付け台」の裏側から蝶ネジボルトで締め込み固定します。

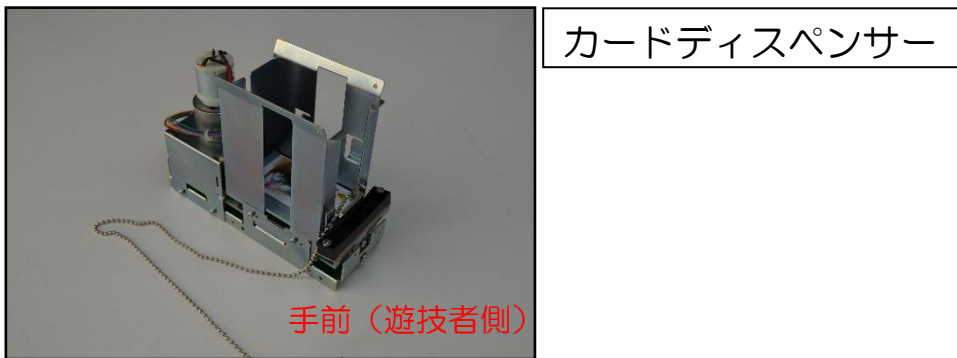
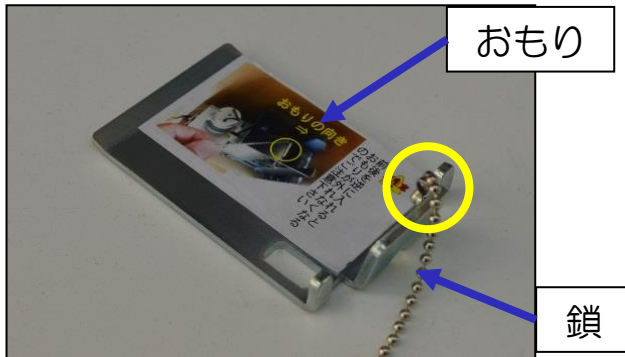


カードディスペンサー



蝶ネジボルト

- ④ カードディスペンサー内に「おもり」を入れます。

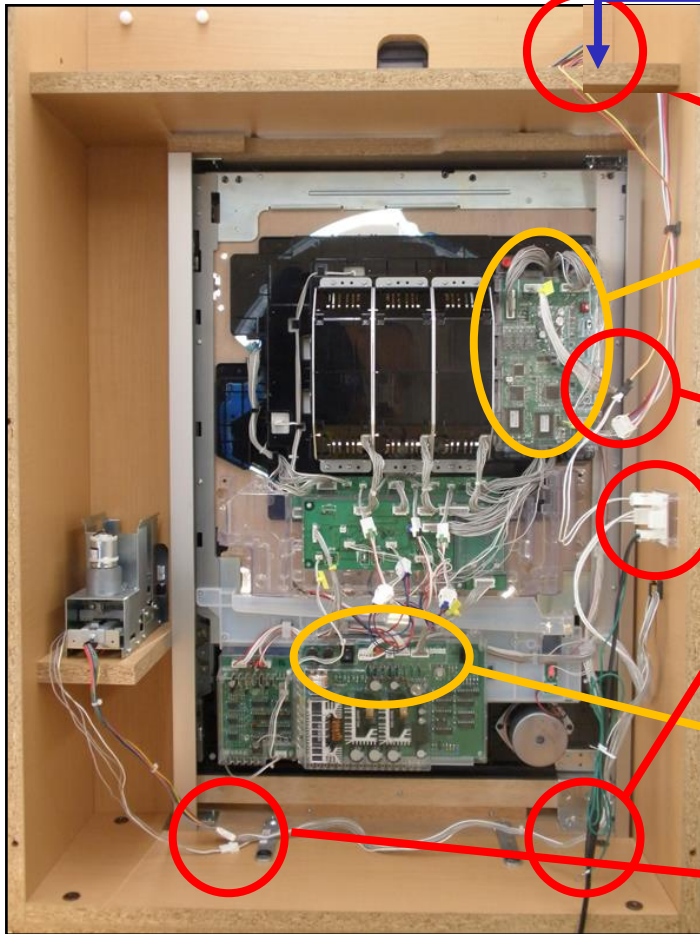


「おもり」の「鎖」がついている方を手前（遊技者側）に向けてカードディスペンサー内へ入れます

【注意】

正しく入れないと「おもり」が外れなくなることがあります。

6. 配線の接続 (A・Bタイプ)



A. データ表示機の接続

E. 空きコネクタ等について

B. データ表示機中継基板からの接続

C. 電源中継基板、電源トランスの接続

E. 空きコネクタ等について

D. カードディスペンサーの接続

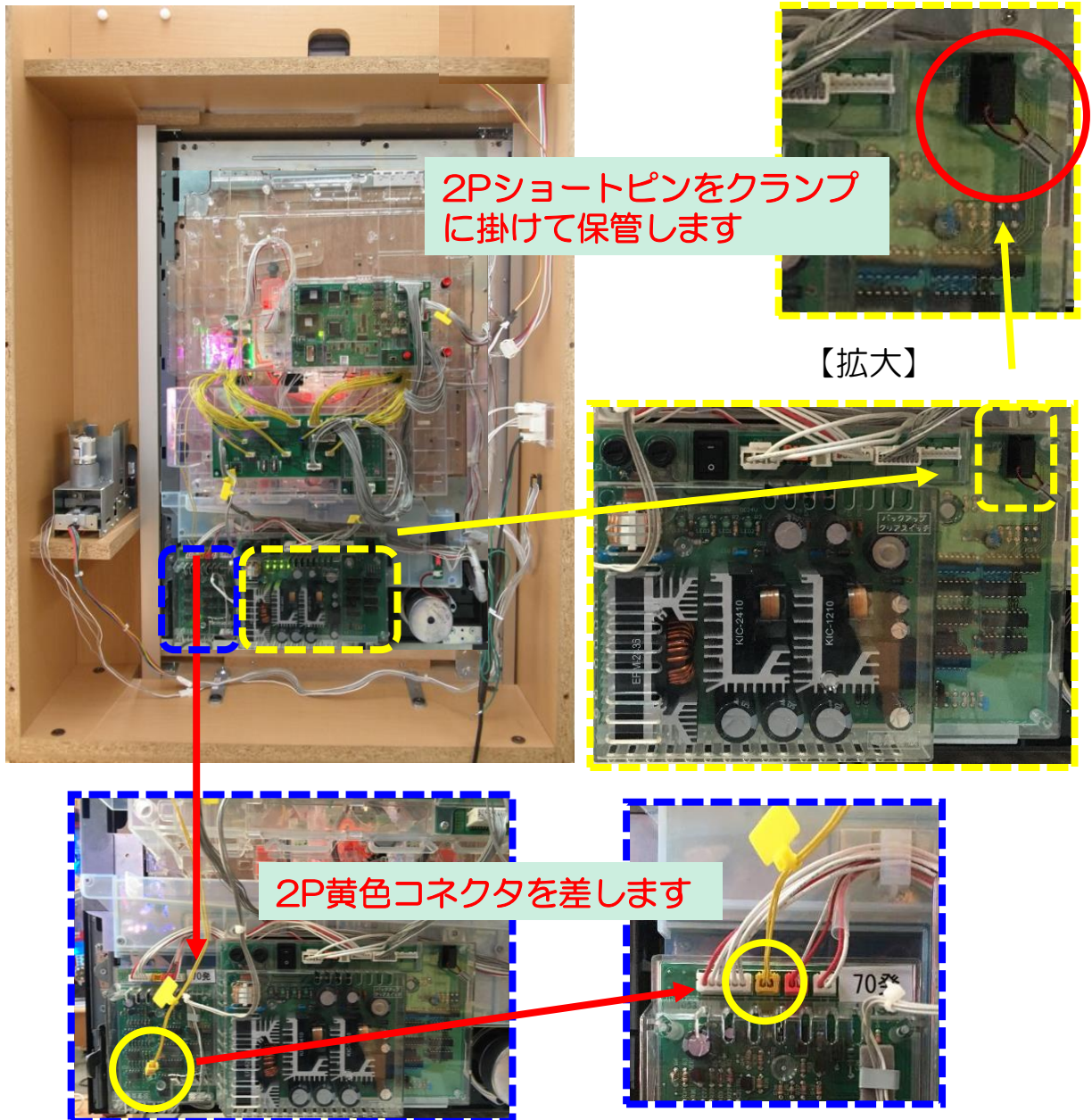
配線接続について、次ページ以降にて詳しく説明します

◆ 配線番号詳細

- | | |
|--|--------------------|
| ① データ表示機ハーネス | ② データ表示機電源ハーネス |
| ③ データ表示機情報ハーネス | ④ サブ制御トップランプ結束ハーネス |
| ⑤ 電源基板ハーネス | ⑥ 電源中継基板ハーネス |
| ⑦ カードディスペンサーハーネス | ⑧ カード払出OLEDハーネス |
| ⑨ カードディスペンサーユニットハーネス (カードディスペンサーハーネス側) | |
| ⑩ カードディスペンサーユニットハーネス (カード払出OLEDハーネス側) | |

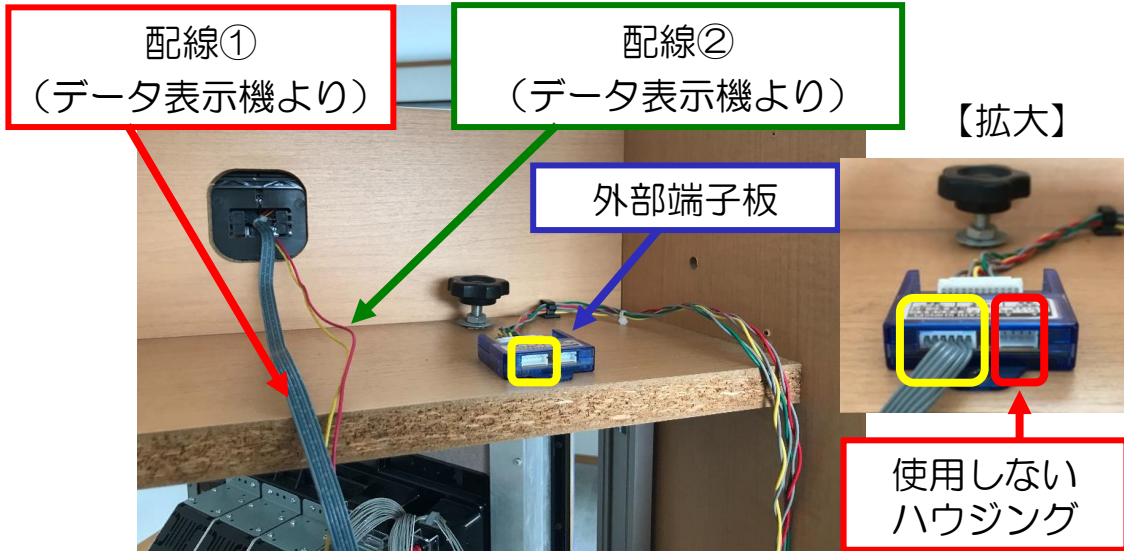
6. 配線の接続 (Cタイプ)

A・Bタイプの盤面と若干配線方法が異なっております。
盤面から発射制御基板への接続ハーネスが追加されています。

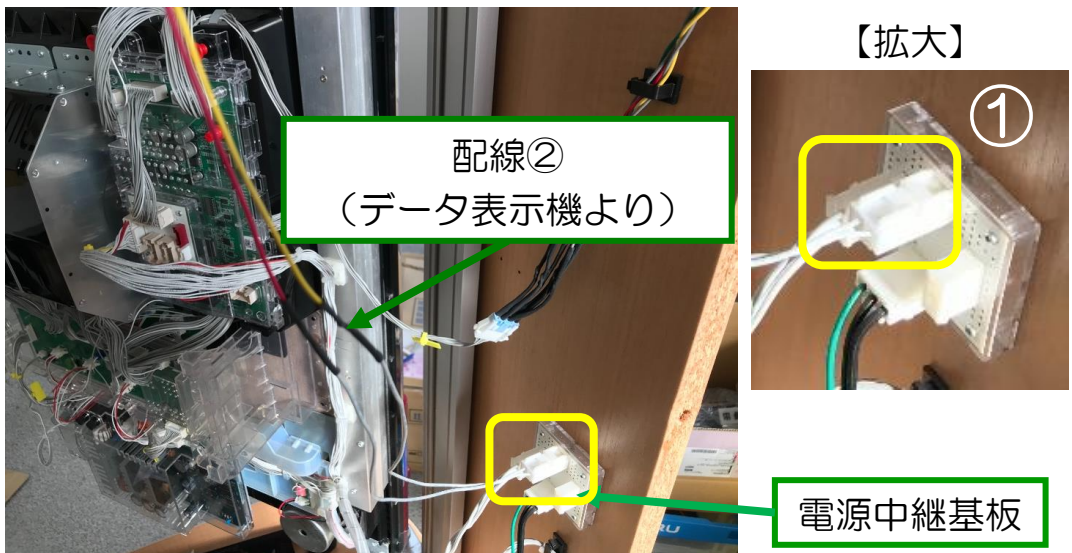


A. データ表示機の接続

- ① 配線①（データ表示機より）を「外部端子板」に接続します。

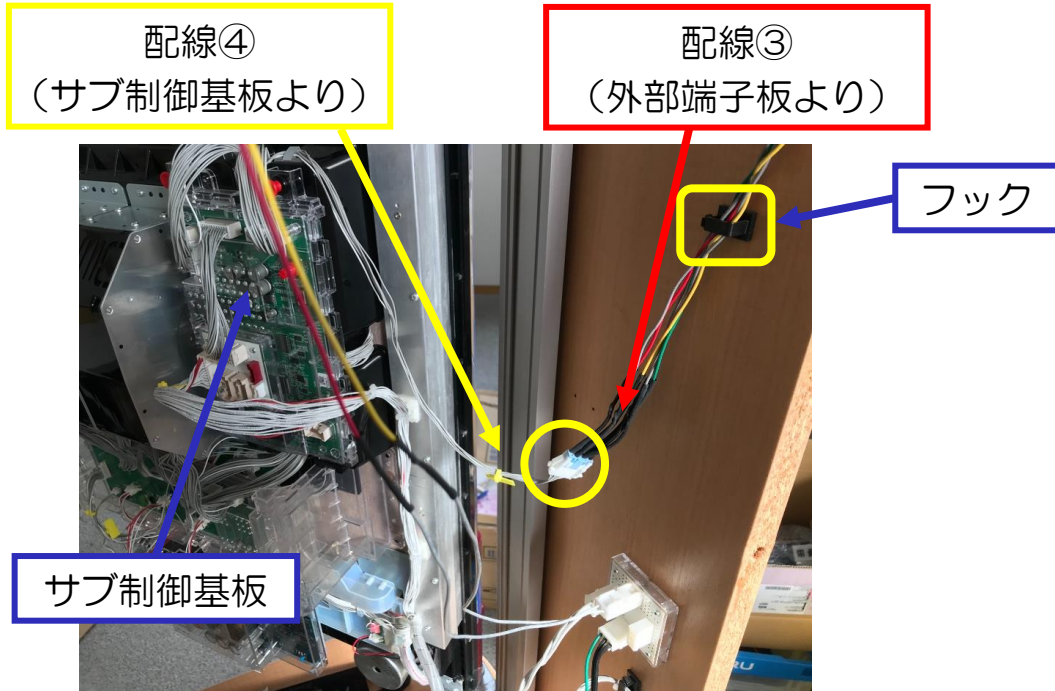


- ② 配線②（データ表示機より）のコネクタを、電源中継基板①へ接続します。



B. データ表示機中継基板からの接続

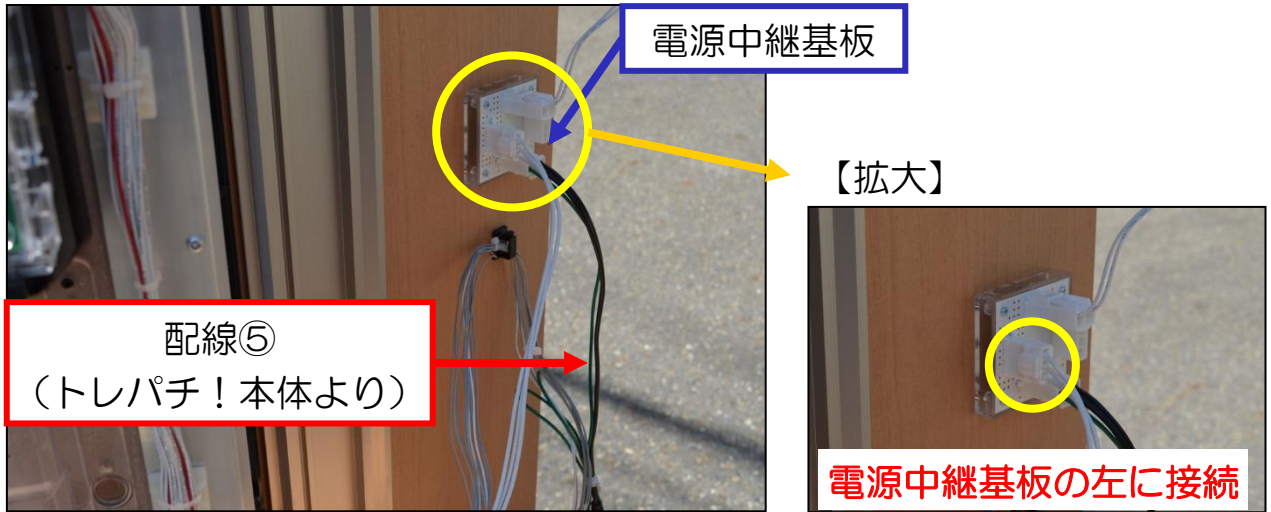
- ① 配線③（外部端子板）と配線④（サブ制御基板より）を接続します。



配線③は予め「外部端子板」に取り付けられています。
配線④は予め「サブ制御基板」に取り付けられています。

C. 電源中継基板、電源トランスの接続

- ① 配線⑤（トレパチ！本体（右下）より）を「電源中継基板」に接続します。



配線⑤は予めトレパチ！本体に取り付けられています

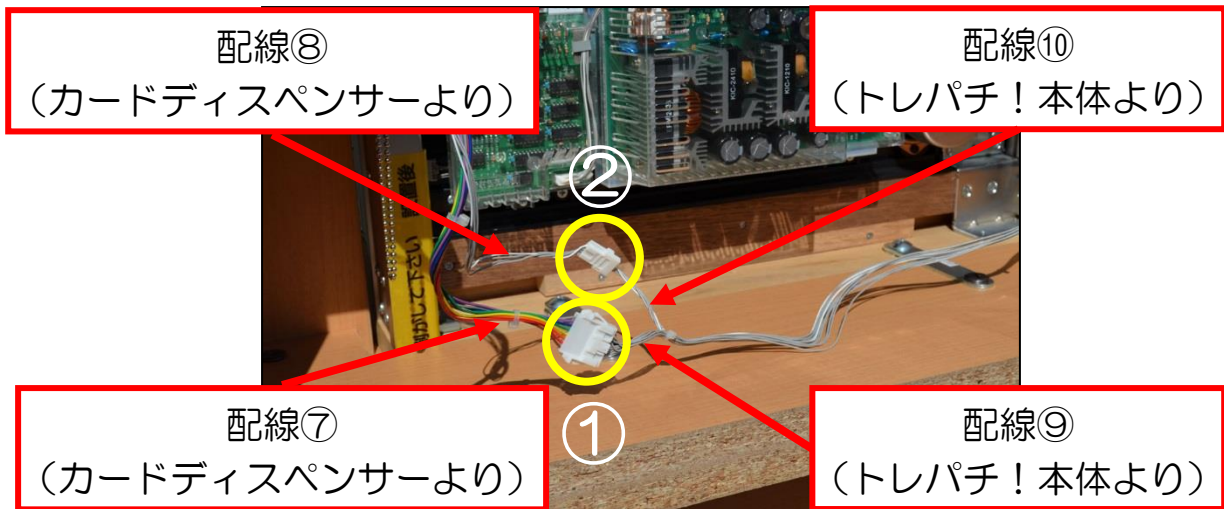
- ② 配線⑥（電源中継基板より）と電源トランスを接続します。



配線⑥は予め「電源中継基板」に取り付けられています

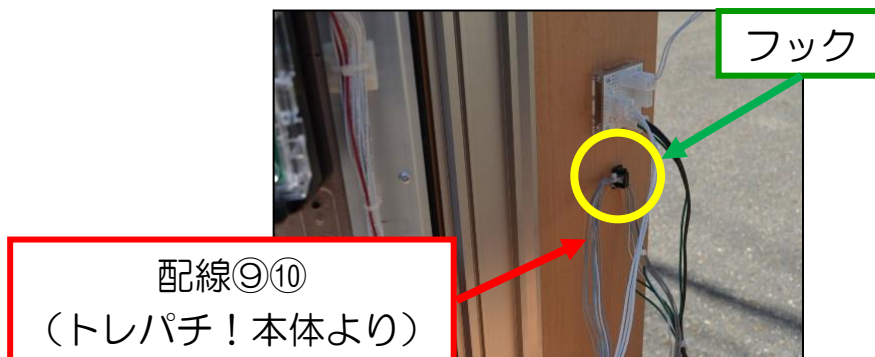
D. カードディスプレイの接続

- ① 配線⑦（カードディスプレイより）と、配線⑨（トレパチ！本体より）を接続します。
- ② 配線⑧（カードディスプレイより）と、配線⑩（トレパチ！本体より）を接続します。



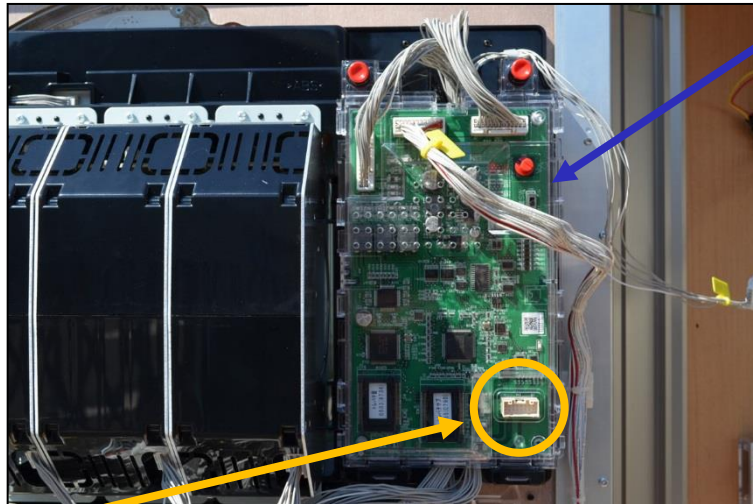
配線⑦⑧は予めカードディスプレイに取り付けられています。
配線⑨⑩は予めトレパチ！本体に取り付けられています。

- ③ 配線⑨⑩（トレパチ！本体より）を「フック」で固定します。



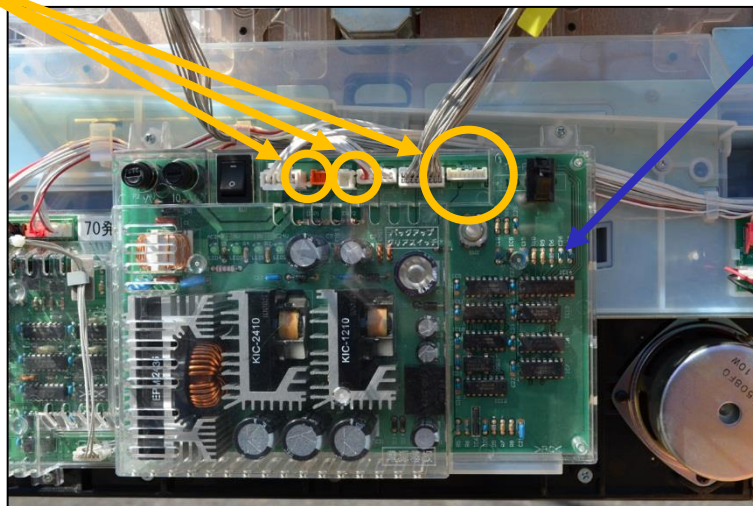
E. トレパチ！本体の「空きコネクタ」等について

トレパチ！本体の基板（サブ制御基板・電源基板）には、使用していない「空きコネクタ」が存在します。ハーネス類の抜けや欠損ではありませんのでご注意ください。



サブ制御基板

空きコネクタ

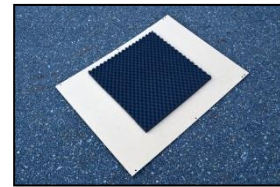
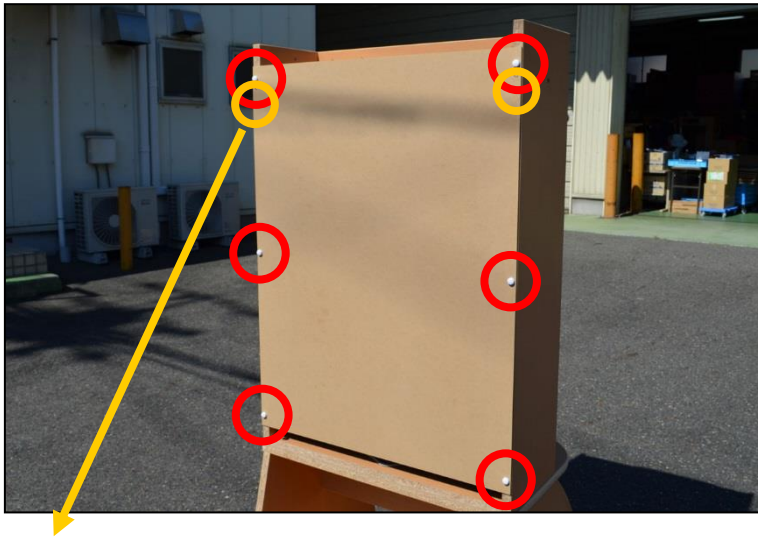


電源基板

橙丸で囲まれている「空きコネクタ」（3箇所）は使用していません。赤丸で囲まれている「オプション使用時コネクタ」はオプション使用時に使用します。

7. 消音パネルの取り付け

- ① 設置台（上ユニット）の「位置決めピン」（上部2箇所）に消音パネルの位置決め穴を合わせます。
- ② 消音パネルの6箇所をユリヤねじでしっかり締め付け固定します。



消音パネル



ユリヤねじ

【拡大】



位置決めピン

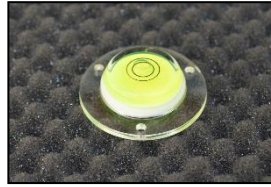
消音パネルの落下等に注意して下さい

8. 設置台の固定

使用工具：ラチェットレンチ（17 mm）、丸型水平器

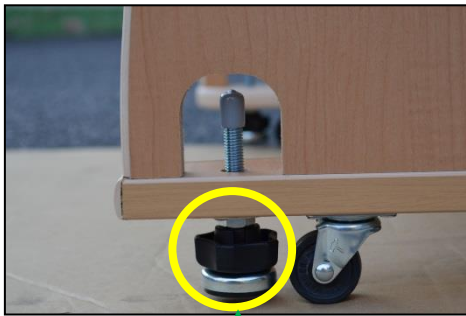


ラチェットレンチ

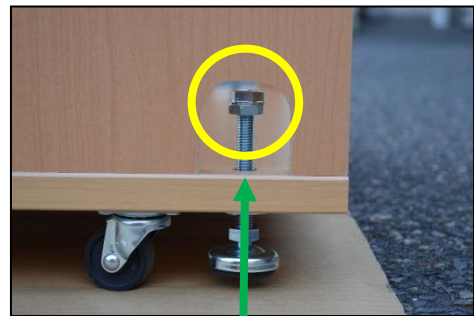


丸型水平器

- ① 設置台（下ユニット）の前後に付いている4つの「アジャスタボルト」を使用して設置台を固定します。
- ② 設置台固定後は必ずガタつき確認と水平確認を行います。



手前2つの「アジャスタボルト」はノブを手で回して調節します



奥2つの「アジャスタボルト」はナットをラチェットレンチで回して調節します

製品を正しく安全にご使用していただくため、作業後は必ずガタつき確認と水平確認を行って下さい

9. 設置台の連結固定

使用工具：スパナ（13 mm）

- ① 接台片側の設置台（上ユニット）上部側面に連結用スペーサーを貼り付けます。

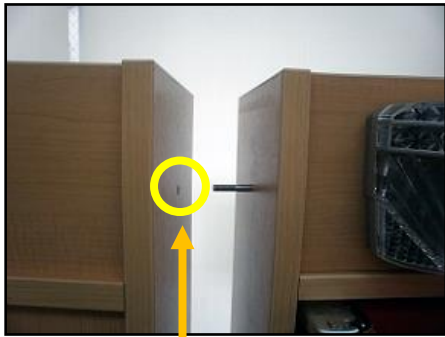


連結用スペーサー

設置台を連結した場合は、設置台上部側面に隙間が生じるので必ず連結用スペーサーを使用して下さい

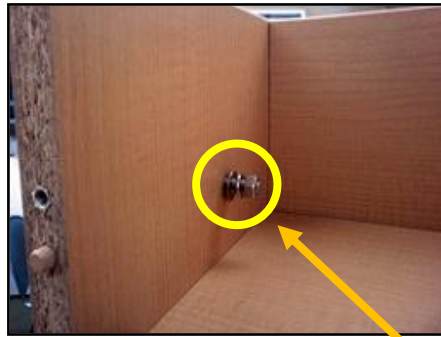
- ② 設置台（上ユニット）上部側面の穴に連結ボルトを使用して隣接台を接続し固定します。

【正面から】



設置台上部側面の穴

【裏から】



①ワッシャー、②スプリング、③ナットの順

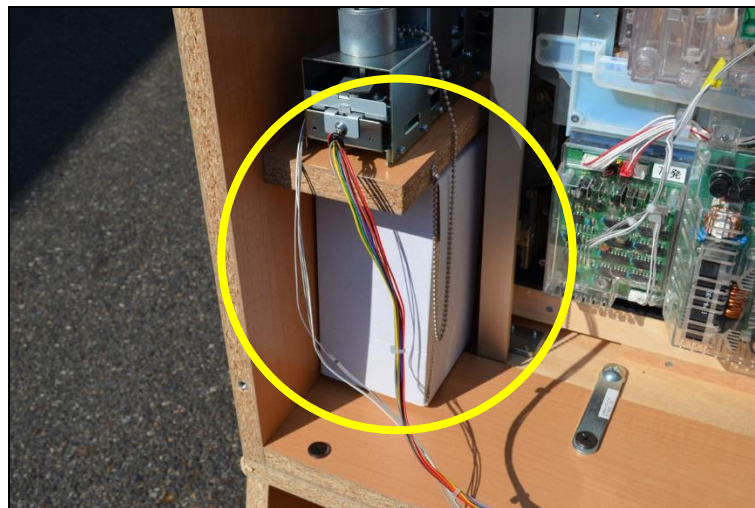


連結用ボルト

ナットの締め付けすぎには注意して下さい。連結用スペーサーが潰れ設置台が傾き破損する恐れがあります

10. 未使用部品の保管など

未使用部品やチャック袋（専用球やトレパチ！カードが入っていた袋）は、電源トランスが入っていた付属品箱の中に収め、カードディスプレイ取り付け台の下に置きます。



施設様にて移動したり、廃棄しないよう要請して下さい

機材返却時の機材確認で数量等が合わなくなる恐れがありますので、作業と伝達を確実に行って下さい

鍵・電源タップ・連結ボルト・連結用スペーサーの使用は設置状況により異なります。

11. 設定方法①（Aタイプ）

① 音量および確率の設定

⇒ 「音量・確率設定つまみ」にて音量と確率の調整ができます

⇒ 音量は「無音～最大（5段階）」を選べます

⇒ 確率は「1/35」または「1/70」を選べます

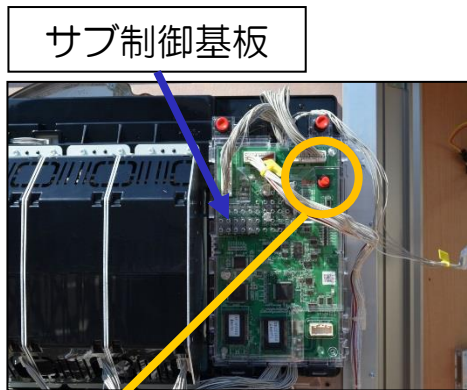
※ 出荷時設定は「7」です（音量：中/確率：1/35）

② 音声の設定

⇒ 「音声切り替えスイッチ」にて音声の変更ができます

⇒ 「男性」または「女性」を選べます

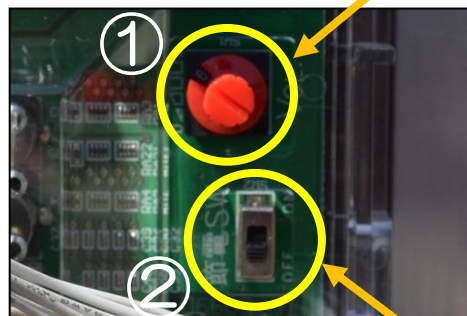
※ 出荷時設定は「ON」です



サブ制御基板

音量・確率設定つまみ

【拡大】



音声切り替えスイッチ

音量・確率設定

位置	音量	確率
0	無音	1/70
1	小	
2	中	
3	大	
4	最大	
5	無音	1/35
6	小	
7	中	
8	大	
9	最大	

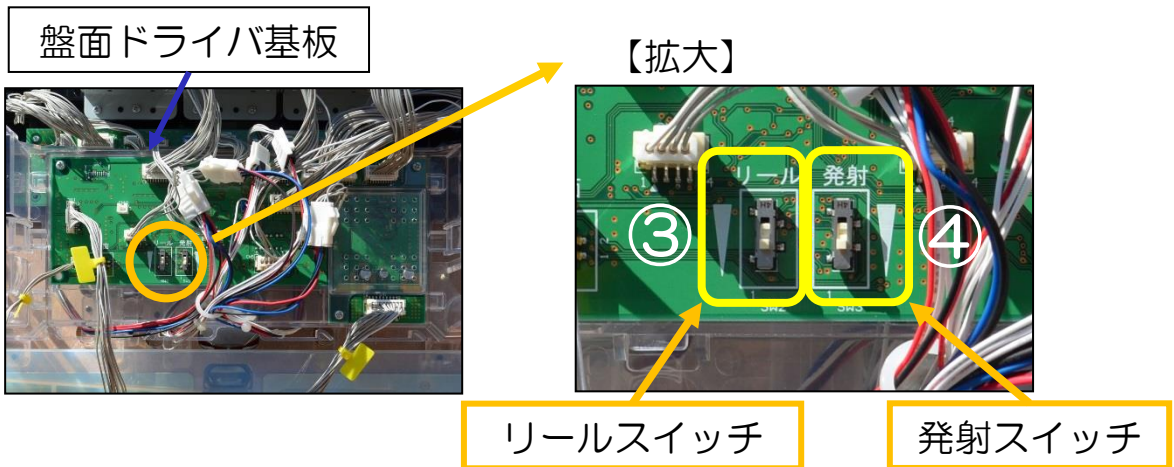
出荷時

音声切替

スイッチ位置	音声
ON	女性
OFF	男性

- ③ チャレンジリーチ（ボタン演出）の難易度設定
 - ⇒ 「リールスイッチ」にてチャレンジリーチ難易度の調整ができます
 - ⇒ 難易度は「低・中・高」を選べます
 - ※ 出荷時設定は「下」です

- ④ 球の発射設定
 - ⇒ 「発射スイッチ」にて球の発射調整ができます
 - ⇒ 球飛びは「弱・中・強」の調整ができます
 - ※ 出荷時設定は「下」です



チャレンジリーチ難易度設定

リールスイッチ	難易度	ボタンdeチャレンジ ドラム(リール)回転速度	連打deチャレンジ ボタン連打成功回数
上	高	高速	35回
出荷時 中	中	中速	25回
下	低	低速	10回

球の発射設定

発射スイッチ	球飛び
上	強
出荷時 中	中
下	弱

12. 設定方法②（Bタイプ）

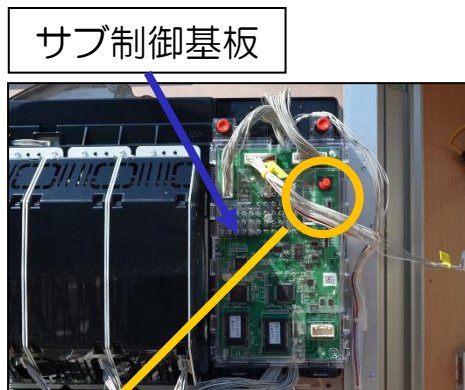
① 音量および確率の設定

⇒ 「音量・確率設定つまみ」にて音量と確率の調整ができます

⇒ 音量は「無音～大（5段階）」を選べます

⇒ 確率は「1/15」または「1/30」を選べます

※ 出荷時設定は「7」です（音量：小/確率：1/15）



音量・確率設定

位置	音量	確率
0	無音	1/30
1	少々	
2	小	
3	中	
4	大	
5	無音	1/15
6	少々	
7	小	
8	中	
9	大	

出荷時

② チャレンジリーチ（ボタン演出）の難易度設定

⇒ 「リールスイッチ」にてチャレンジリーチ難易度の調整ができます

⇒ 難易度は「低・中・高」を選べます

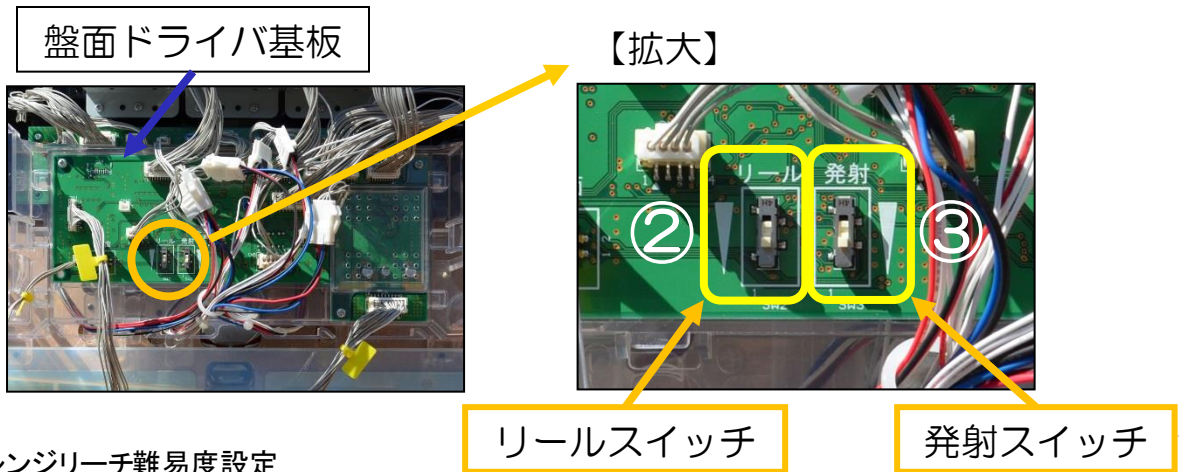
※ 出荷時設定は「下」です

③ 球の発射設定

⇒ 「発射スイッチ」にて球の発射調整ができます

⇒ 球飛びは「弱・中・強」の調整ができます

※ 出荷時設定は「下」です



チャレンジリーチ難易度設定

リールスイッチ	難易度	ボタンdeチャレンジ ドラム(リール)回転速度	連打deチャレンジ ボタン連打成功回数	リズムdeチャレンジ リズムの速さ
上	高	高速 ※ 難易度 超速あり	45回 ※ 難易度 75回あり	速い ※ 難易度 超速あり
中	中	中速	30回	中
下	低	低速	15回	遅い

※ チャレンジリーチの難易度は4段階あり、内部抽選により各難易度をランダムに出現させます

球の発射設定

発射スイッチ	球飛び
上	強
中	中
下	弱

出荷時

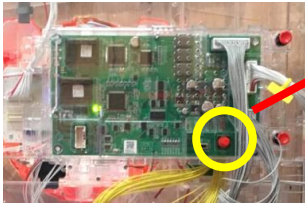
13. 設定方法③ (Cタイプ)

① 音量の調整および確率の設定を行います。

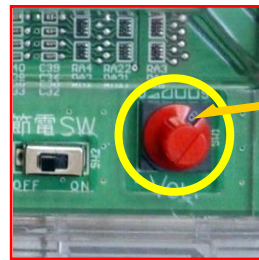
サブ制御基板

音量・確率設定つまみ

音量調整・確率設定つまみ
(サブ制御基板ユニット)



【拡大】



番号表示部

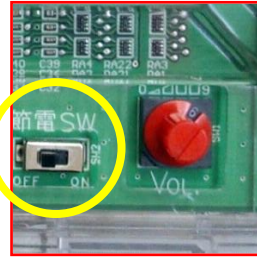
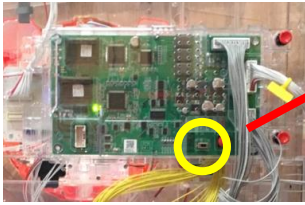
		通常	お助けチャンス	押しボタン押下
位置	音量	シーソー確率	シーソー確率	シーソー目押し 難易度
0	無音	1/8	7/8	むずかしい
1	少々			
2	小			
3	中			
4	大	1/4	7/8	ふつう
5	無音			
6	少々			
7	小			
8	中			
9	大			

※ 押しボタンを押さない状態で8秒経過すると自動動作へ戻ります。

② 電飾スイッチの切り替え設定を行います。（サブ制御基板）

お助け切り替え設定スイッチ
（サブ制御基板ユニット）

【拡大】



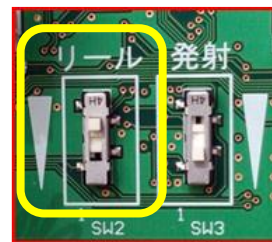
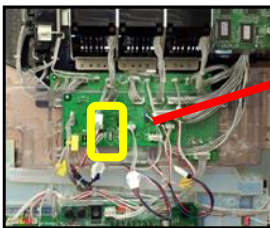
位置	
ON	右
OFF	左

位置	お助けチャンス	内容
ON 右	有り	遊技フロー お助けチャンス有り
OFF 左	無し	遊技フロー お助けチャンス無し

③ モード設定を行います。（盤面ドライバ基板）

モード設定スイッチ
（盤面ドライバ基板）

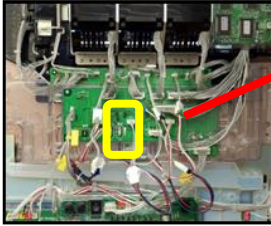
【拡大】



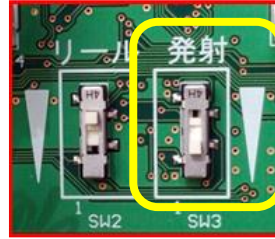
位置	リール	内容
上	シンプル上級モード	通常遊技中 音声無し
中	標準モード	通常遊技中 音声有り（適宣）
下	初心者モード	通常遊技中 音声有り（フル）

④ 発射強弱の設定を行います。（盤面ドライバ基板）

発射強弱設定スイッチ
（盤面ドライバ基板）



【拡大】

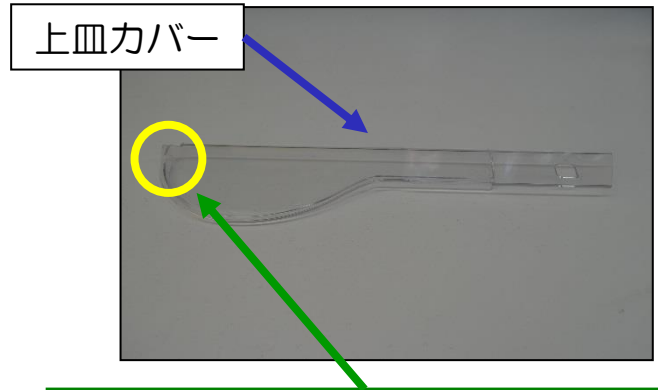


位置	発射
上	強
中	中
下	弱

14. 使用部品の準備

1. 専用球の入れ方

- ① テープ止めされた上皿カバーを取り外します



上皿カバーの左側に隙間があります

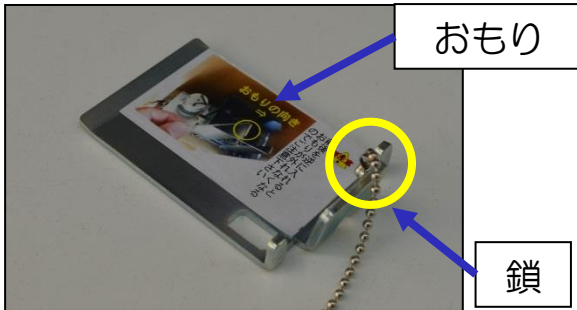
- ② 上皿内に専用球（50個）を入れます。



- ③ 上皿カバーを取り付けます。

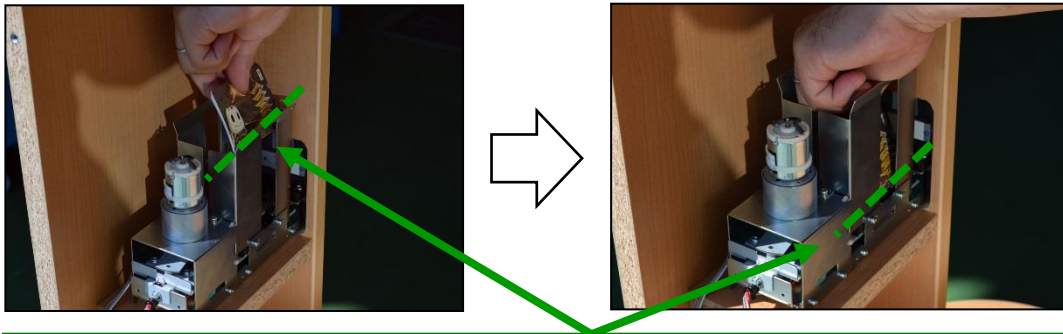
2. トレパチ！カードの入れ方

- ① カードディスペンサーの「鎖」を引き上げ「おもり」を取り出します。

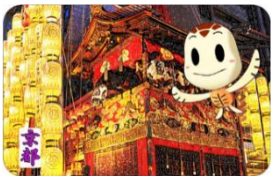


- ② カードディスペンサー内にトレパチ！カード（50枚）を入れます。
 ※ 予備カード（通常は保管）は用途に合わせて使用します

【トレパチ！カードの入れ方】



左右いずれかの側面にカードをあてながら投入すると入れやすいです



裏面（上）



表面（下）

裏面が上になるように補充して下さい

- ③ 「おもり」を元に戻します。

15. 動作確認

1. 電飾等の確認

- ① 電源タップおよびトレパチ！本体の電源を入れます。
電源タップをコンセント（100V）に差し、電源タップとトレパチ！
本体の「電源基板」のスイッチをONにします
- ② 電源投入後、表枠と盤面の電飾の点灯状態を確認します。
「赤 → 青 → 緑 → 白」の順で5秒間ずつ点灯します
※ 白点灯は、盤面のセンター役物内のみ
- ③ データ表示機の点灯状態を確認します。

2. 発射および循環機構部の確認

- ① 球飛びの状態を確認します。 （⇒ 31ページ参照）

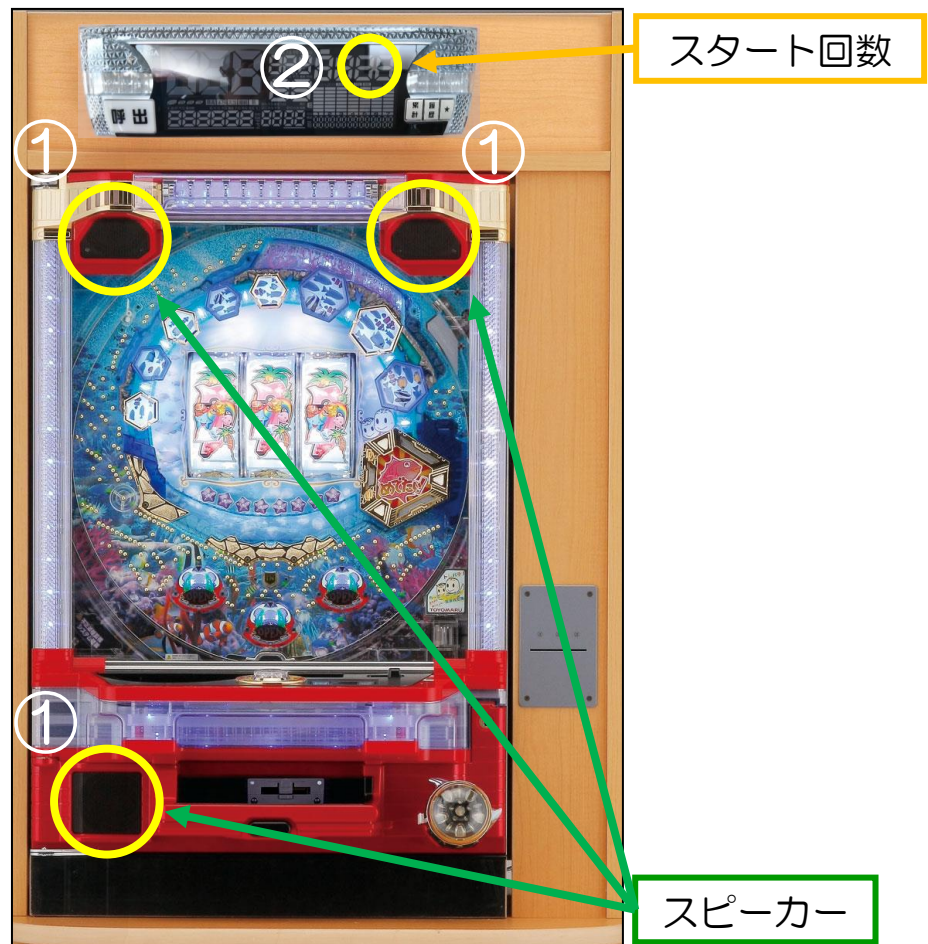


写真の矢印付近に球が着弾するように発射調整して下さい

- ② 発射された球が上皿に戻ってくるかを確認します。

3. スピーカーとデータ表示機の確認

- ① スタート入賞時に、「スピーカー」（上下3つ）から変動音が聞こえるかを確認します。
- ② 変動停止後、データ表示機にスタート回数がカウントされるかを確認します。

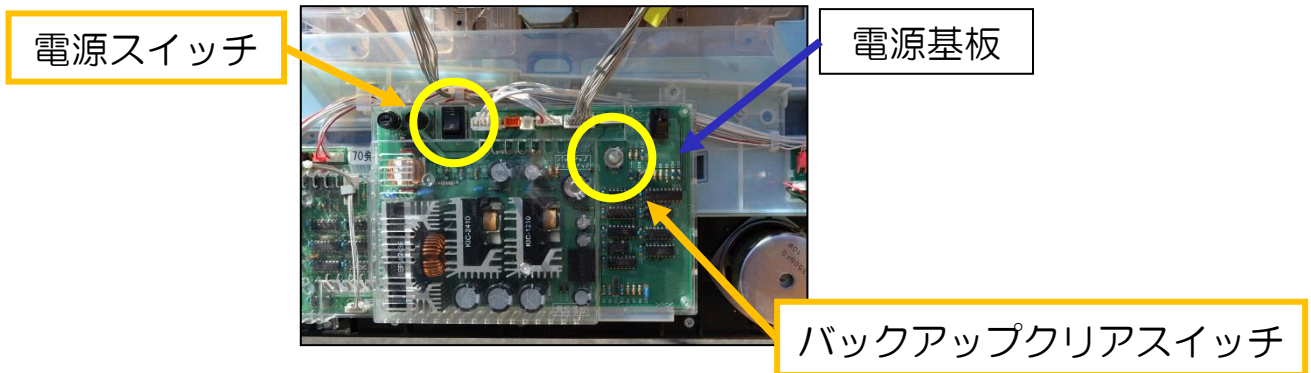


4. カード払い出し、PUSHボタンの確認

【メンテナンスモード [通常払い出し] について】

下記の操作を行い、メンテナンスモード[通常払い出し]に変更します。

- ① トレパチ！本体「電源基板」の「電源スイッチ」を切ります。
- ② 「電源基板」の「バックアップクリアスイッチ」を押しながら「電源スイッチ」を入れます。



- ③ PUSHボタンが赤く点灯すればメンテナンスモード[通常払い出し]へ移行完了です。

※ ボタンが消灯している場合は①②の操作をやり直して下さい

- ④ PUSHボタンを押すたびにカードが払い出されます。
- ⑤ 作業終了後は「電源スイッチ」を切り入りして[メンテナンスモード]を解除します。

メンテナンスモードには、[通常払い出しモード]の他に[連続払い出しモード]があります。[連続払い出しモード]詳細については、「メンテナンスマニュアル」を確認して下さい。

16. トラブル対応について

① 球飛びがおかしい

球飛びが弱すぎる・強すぎるなど、球飛び範囲が適正でない場合は、「盤面ドライバ基板」の「発射スイッチ」にて調整を行います。（⇒ 31ページ参照）

気温低下により発射モーターの初動が弱い場合があります

上記内容以外の場合は発射モーター、発射制御基板の故障が原因と考えられます

② PUSHボタンが反応しない

PUSHボタンが反応しない場合は、トレパチ！本体から「表枠」へ接続されている「白ハーネス（22P）」、または「サブ制御基板」に接続されている「ハーネス（黄色タグ付き）」の状況を確認して下さい。

上記ハーネスが接続されていない場合は、表枠のランプ、スピーカーの音が反応しません

上記内容以外の場合は表枠の故障が原因と考えられます

③ 音が鳴らない

音が鳴らない場合は、「音量・確率設定つまみ」の確認をして下さい。

(⇒ 30ページ参照)

音量・確率設定の位置が0または5の場合は無音設定となっています

上記内容以外の場合はスピーカーの破損、スピーカーハーネスの断線、サブ制御基板の故障が原因と考えられます

④ データ表示機が正常に作動しない

データ表示機が点灯していない場合、スタート回数や大当たり回数などのカウントが変化しない場合は、データ表示機の配線接続（A、B）を確認します。

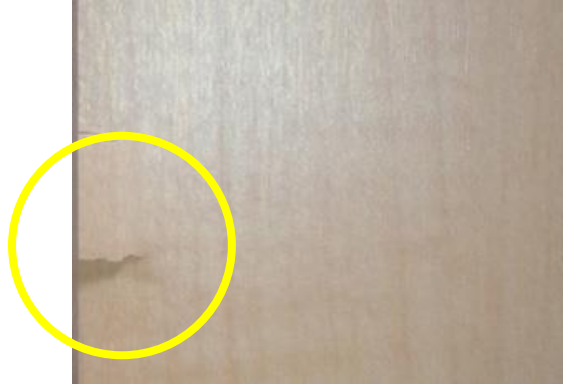
(⇒ 21ページ参照)

上記コネクタが抜けていると、データ表示機の表示が点灯、反応しません

上記内容以外の場合はデータ表示機の故障が原因と考えられます

⑤ 設置台が破損している

設置台に剥がれや破損等を発見した場合は、補修または機材交換を行います。



剥がれや破損が軽微な場合は、木工用ボンド等を用いて補修を行います



剥がれや破損状態が著しい場合は、機材の交換にて対応します

補修を行う際には、必ずお客様に状況を説明し、承諾を得てから作業を行うようにして下さい。また補修の必要がないと思えるごく軽微なキズや破損、破損状態が著しく交換を要する場合においても、必ずお客様に状況を説明して下さい。

⑥ 電源が入らない

① 電源コードは電源タップに挿してありますか？

挿してない → 電源コードを電源プラグに挿します



② 電源タップのスイッチはONになっていますか？

ONになってない → ONにします



③ トレパチ！本体と設置台、電源トランスは接続されていますか？

接続されていない → 各配線を正しく接続します



④ トレパチ！本体の電源スイッチはONになっていますか？

ONになっていない → トレパチ本体の電源スイッチを入れます



⑤ 電源基板の緑色LED（4つ）は点灯していますか？

点灯していない → 電源基板の故障の可能性があります
(電源基板を交換)



⑥ 電源基板の黄色タグ付ハーネスは接続されていますか？

接続されていない → 電源基板の黄色タグ付ハーネスを接続します



電源基板以外の故障の可能性があります

⑦ カードが払い出されない

① カード払出口のLEDは黄色で点滅していませんか？

点滅している → カードを補充します



② カード払出口のLEDは赤色で点滅していませんか？ [1]

点滅している → カードとおもりを正しくセットし、バックアップクリアスイッチを押します



③ カード払出口のLEDは赤色で点滅していませんか？ [2]

点滅している → 不良カードを除去し、バックアップクリアスイッチを押します





④ カードディスペンサーの配線は接続されていますか？

接続されていない → カードディスペンサーの配線を接続します



カードディスペンサーが故障している可能性があります

【カード払出口LED表示について】

LED表示	現在の状態	対応方法
 (黄色の点滅)	カード在庫切れ	・カードを補充する
 (赤色の点滅)	払い出し不良	・カードとおもりを確認する ・不良カードを除去する



⑧ 上皿に専用球が戻ってこない

① 盤面内に専用球がひっかかって詰まっていますか？

詰まっている → 盤面内の球を除去して上皿に戻します



循環機構部（裏球通路）に専用球または異物が詰まっています

→ 専用球の破損または異物の混入による可能性がありますので、
盤面を取り外して専用球または異物を取り除いて下さい

I. オプションについて

- 「無線仕様」の場合、専用の部品を取り付ける必要があります。
(⇒ 5ページ参照)

- ※ 受注時に組付けする場合と、後日、追加オプションとして組付け作業を行う場合があります。
- ※ 初めに、無線子機とペアリング（接続設定）とハンドル発射有無の設定を行う必要があります。(⇒ 50ページ参照)

無線子機



足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサの例

押しボタン機器の例

- 「助ダチくん」・「エアロビック・トレパチ！」を使用する場合、取り付け専用の部品を取り付ける必要があります。(⇒ 6 - 8ページ参照)
 - ※ 受注時に組付けする場合と、後日、追加オプションとして組付け作業を行う場合があります。
- 「エアロビック・トレパチ！」仕様の接続方法は、「助ダチくん」仕様とほぼ同じですが、一部接続が異なります。(⇒ 6ページ参照)
 - ※ この仕様の場合、運動器具側のコネクタハーネスをターミナルへ接続することで通常の遊技が可能となります。(⇒ 53ページ参照)

Ⅱ 無線仕様のペアリング（接続設定）について

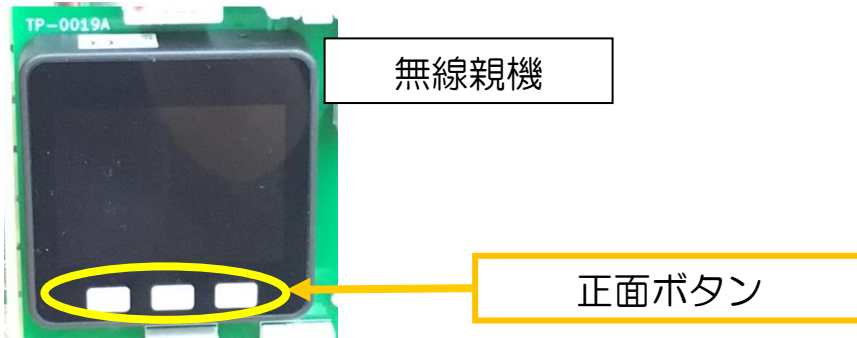
初めに無線親機と無線子機とのペアリング（接続設定）を行う必要があります。
1度ペアリングを行えば、次回からの電源投入では操作不要です。

- ※ 前準備： 無線子機は充電済みであること
無線子機は新品電池を入れること
- ※ 押しボタン機器（無線助ダチくん）は1台まで、
足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサは2台まで同時接続できます

以下の手順でペアリングします

1. 無線親機を初期化・子機登録

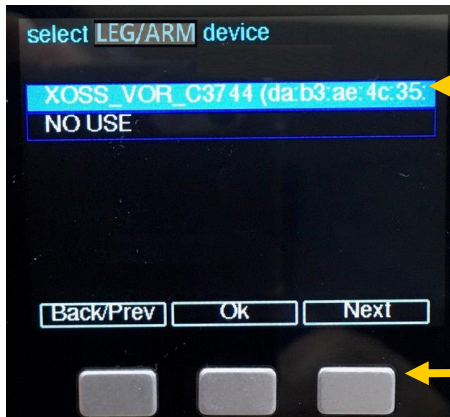
- ① まずは、足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサの接続が行われますので、あらかじめ無線子機（ケイデンスセンサ）の電池を入れ電源ONにしておきます。
- ② 無線親機の正面ボタンの何れかを押しながら、TPの電源をONします。



- ③ 正常に初期化されると、子機登録のために子機検索が始まります。
足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサ1台目の検索が行われます。

scan LEG/ARM1 device ...

- ④ 正常に検索できると、子機の一覧が表示されますので選択・決定します。



子機の一覧

1台目の足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサが
不要な場合はNO USEを選択する

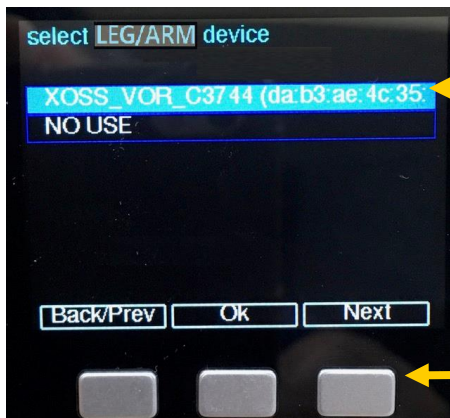
NEXTボタンで選択、OK
ボタンで決定する

- ⑤ 選択した子機に自動接続されます。

- ⑥ 次に、足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサ2台目の検索が行われます。

scan LEG/ARM 2 device ...

- ⑦ 正常に検索できると、子機の一覧が表示されますので選択・決定します。



子機の一覧

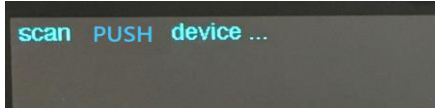
2台目の足漕ぎセンサ／手漕ぎセンサが
不要な場合はNO USEを選択する

NEXTボタンで選択、OK
ボタンで決定する

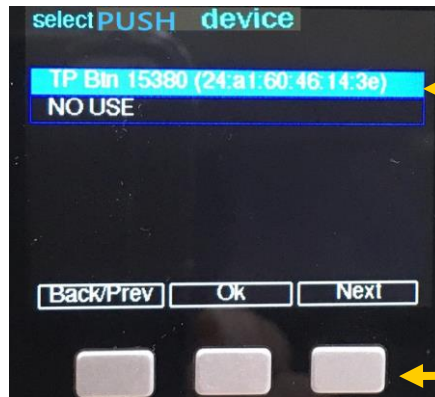
- ⑧ 選択した子機に自動接続されます。

【!】接続に失敗した場合は **【CONNECT ERROR】** 表示で停止します。
この時は電源OFFし、再度①の電源ONからやり直してください。

- ⑨ 次に、押しボタン機器の検索が行われますので、無線子機（無線助ダチくん）の電源をONにします。



- ⑩ 正常に検索できると、子機の一覧が表示されますので選択・決定します。



子機の一覧

押しボタン機器が不要な場合は
NO USEを選択する

NEXTボタンで選択、OK
ボタンで決定する

- ⑪ 選択した子機に自動接続されます。

【！】接続に失敗した場合は【CONNECT ERROR】表示で停止します。
この時は電源OFFし、再度①の電源ONからやり直してください。

- ⑫ 正常に接続されると、ペアリングされた3つの子機の通信状態が表示されます。



続いて、ハンドル発射有無の設定を行った後、運動器具の動作確認を行ってください。

Ⅲ ハンドル発射有無の設定

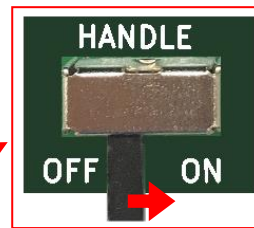
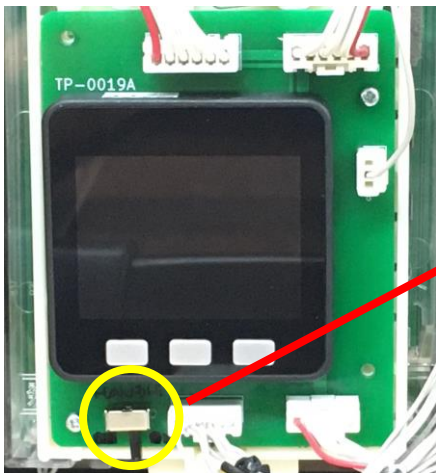
- ⑬ 初期設定として、ハンドル発射切替スイッチを「ON」側にし、リセットのためTPの電源をOFF→ONします。

無線親機

ハンドル発射切替スイッチ

ハンドル発射切替スイッチ

【拡大】



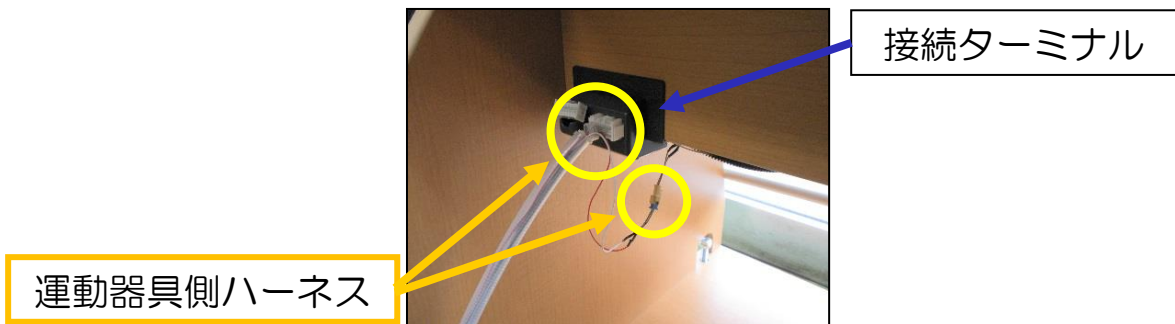
位置	ハンドル及び 助ダチくん発射スイッチ
OFF	無効
ON	有効

- ⑭ 運動器具の動作を行い球が発射されるか確認します。
押しボタン機器の動作を行い反応があるか確認します。

Ⅳ エアロビック・トレパチ！について

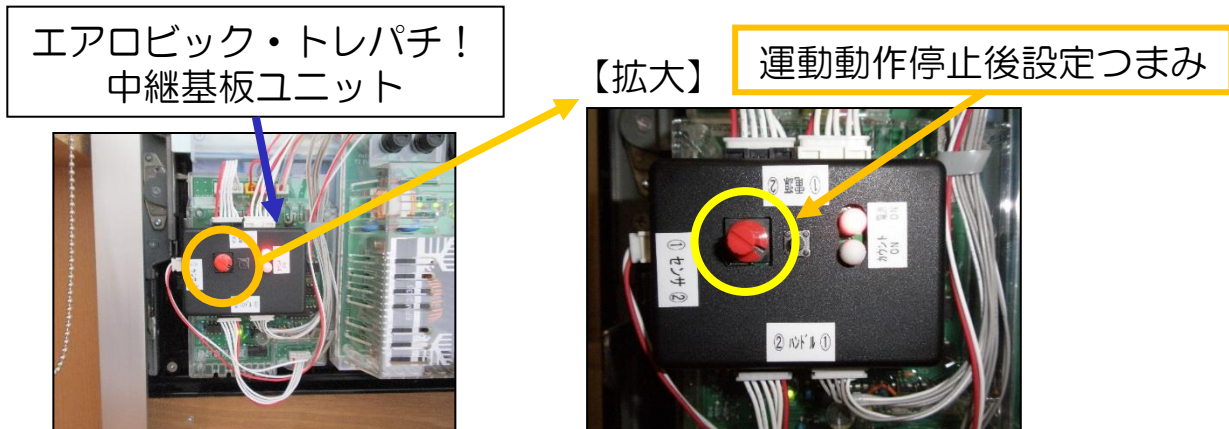
1. 運動器具の接続方法

- ① 設置台（下ユニット）接続ターミナルのコネクタ接続部に運動器具側ハーネスを接続します。（2箇所）
- ② 運動器具の動作を行い球が発射されるか確認します。



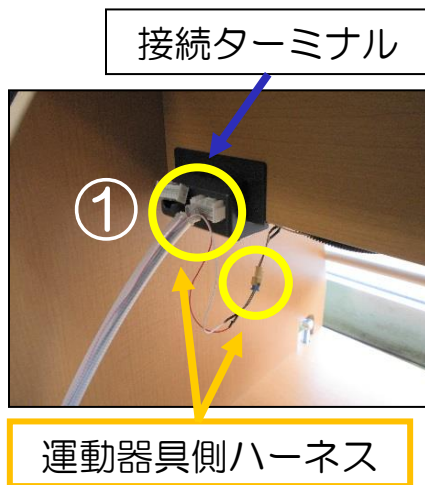
2. エアロビック・トレパチ！中継基板ユニットの設定方法

- ① 運動動作停止後の球飛び秒数の設定
⇒ 「運動動作停止後設定つまみ」にて運動動作停止後の球飛び秒数の設定ができます
⇒ 運動動作停止後の球飛び秒数は「0～9 秒」を選べます
※ 出荷時設定は「1秒」です ※ 「0」では球飛びされません



3. トレパチ！本体の遊技方法

- ① 設置台（下ユニット）接続ターミナルのコネクタ接続部の運動器具側ハーネスを外します。（2箇所）
- ② トレパチ！本体側ハーネスを右側のハウジングへ接続します。
- ③ トレパチ！本体のハンドル動作を行い、球が発射されるか確認します。



コネクタ部は爪でロックされる機構となっています。
接続する場合は爪がロックするまで押し込みます。
外す場合は爪を押し上げるようにして外します。